

下新川海岸に関するアンケート
実施要領と調査結果

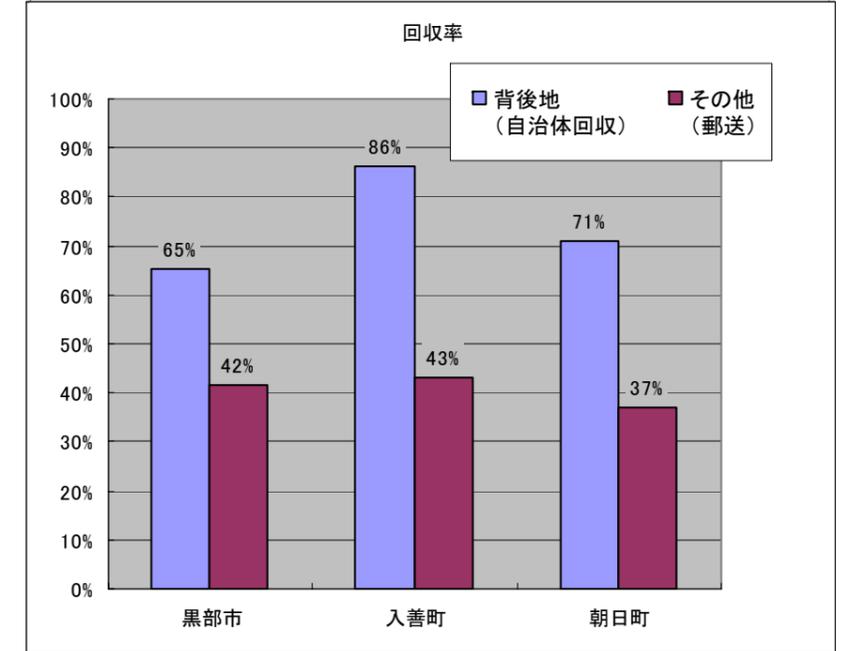
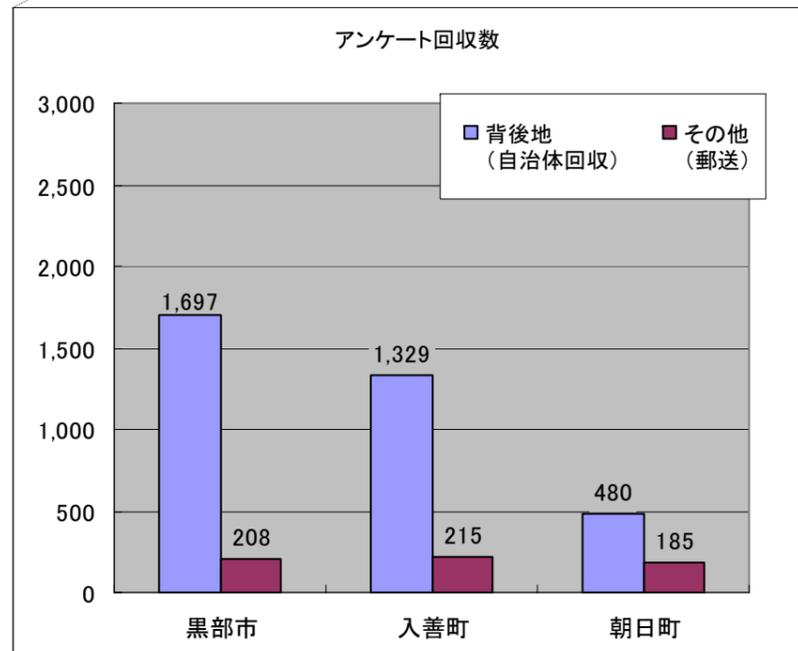
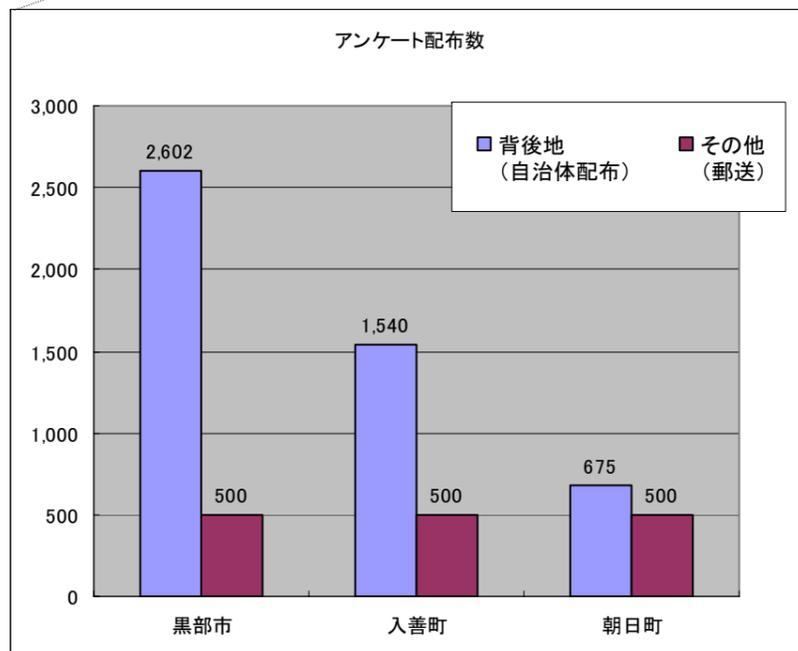
1. アンケートの配布対象と回収方法

- ① 海岸背後地：下新川海岸沿岸背後地の全地区の全世帯へ各1通のアンケート票を配布した。アンケート票の配布と回収は町内会の経由で行った。
- ② 内陸部：沿岸の地区以外の内陸部住民に対し、3市町へ500通ずつ選挙管理委員会名簿から無作為抽出した住民に対し郵送による送付と回収を行った。

2. アンケートの回収数・回収率

配布数総数は、6,317通、回収総数は4,095通であり、全体で65%の高い回収率を得た。背後地住民からの回収率は何れの市町でも高く、特に入善町の海岸背後住民からの回収率は86%に達した。郵送による回答も約4割の回収率であり、下新川海岸についての感心度が高いことがわかった。

市町	(工区)	配布数			回収数			回収率		
		背後地 (自治体配布)	その他 (郵送)	合計	背後地 (自治体回収)	その他 (郵送など*)	合計	背後地 (自治体回収)	その他	合計
朝日町	—	675	500	1,175	480	185	665	71%	37%	57%
	1									
入善町	2	1,540	500	2,040	1,329	215	1544	86%	43%	76%
	3									
黒部市	4	2,602	500	3,102	1,678	208	1,886	64%	42%	61%
	5									
	6									
市町計	—	4,817	1,500	6,317	3,487	608	4,095	72%	41%	65%



*黒部河川事務所ホームページ版アンケートへの電子回答を含む

3. 配布したアンケート票と資料

3.1 アンケートの依頼と海岸についての情報提供

黒部河川事務所からみなさまへ

「下新川海岸に関するアンケート」へのご協力をお願い

黒部河川事務所では、災害に強いだけでなく、地域に愛される海岸を目指して「下新川海岸マスタープラン検討委員会」を平成18年6月8日に設立し、今後の海岸整備計画を検討することにしました。

つきましては当地域にお住まいの皆様方を対象に、海岸の利用実態や思いなどをお聞きするため「アンケート調査」を実施することにいたしました。お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

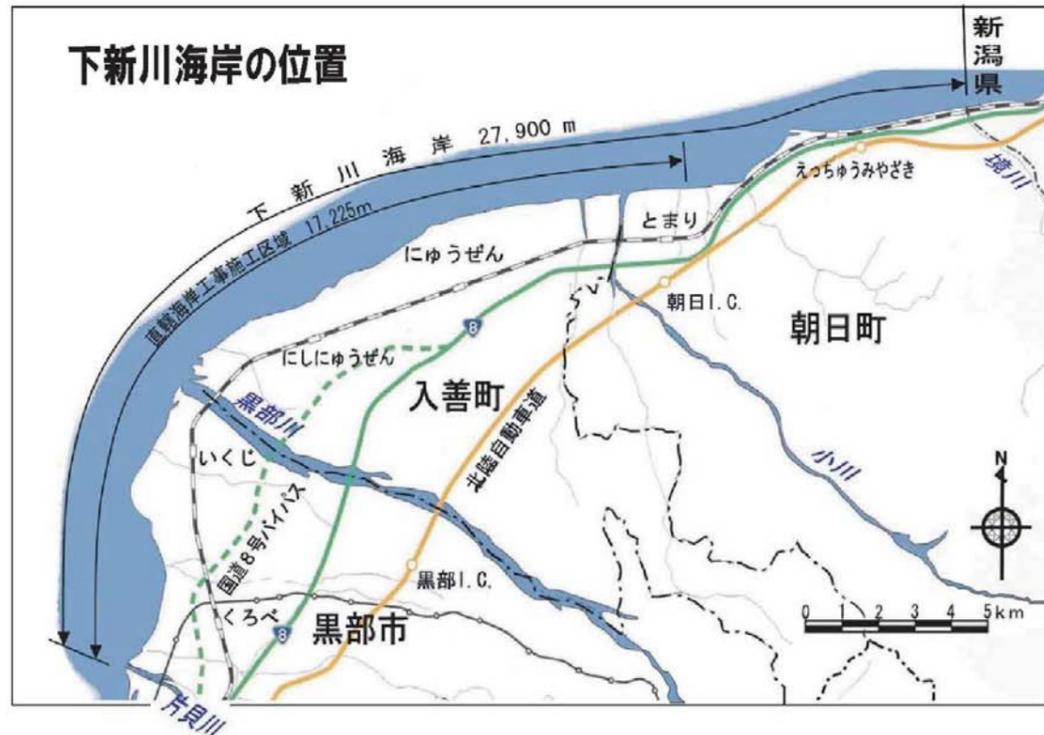
皆様より戴いたアンケートはマスタープラン検討委員会に報告し、これをもとに今後の整備計画を検討いたします。また、後日ホームページに掲載する予定です。このアンケートで得られた情報は他へ転用したり悪用することはありません。

※アンケートは以下の方々に配布させていただきます。10月末までにご回答をお願いいたします。

- ・海岸付近にお住まいの方々には、町内会を通して全世帯に配布・回収させていただきます。
- ・海岸付近以外にお住まいの方々にも、各市町から500名様を無作為抽出し、同アンケートを郵送させていただきます。お手数ですが、同封の封筒にてご返信いただきますようよろしくお願いいたします。

アンケートの対象になられなかった方は、下記URLで答えていただくことが可能です。また、下記にご連絡いただければアンケートを送付いたします。

* お問い合わせ先 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
 下新川海岸アンケート担当 小池田、西川
 〒938-0042 富山県黒部市天神新173
 TEL.(0765)52-4686 FAX.(0765)57-2449
 メールアドレス kurobe@kurobe.go.jp
 URL <http://www.kurobe.go.jp/>



下新川海岸はこんな海岸です

侵食の激しい海岸

砂が波に削られて失われていく現象を侵食といいます。下新川海岸は、深海の富山湾に面しており、北西の波が頻りに押し寄せます。特に冬場には激しい波が岸まで衰えることなくやって来て、侵食を引き起こします。

また、砂浜がなくなると波が高くなり、海に近い堤防の背後の土地は危険にさらされてしまいます。過去には侵食を受けて、家屋の移転を余儀なくされた人々も少なくありません。

この海岸が侵食を受けやすい理由は他にもあります。それは海岸の成り立ちと地形特性です。

黒部市生地 (昭和45年2月)



入善町神子沢 (昭和45年2月)



下新川海岸の成り立ちと地形の特徴

黒部川流域には雨や雪が多く降ります。また黒部川の流域には多くの崩壊地があるため、水と共にたくさんの土砂が運ばれてきました。黒部市や入善町、朝日町はこの黒部川が運んできた土砂によって形成された扇状地の上に発達してきました。そして、その扇端部に位置するのが下新川海岸です。

昔から黒部川は暴れ川として有名で、洪水の度に川の流れる場所（流路といいます）が変わり、周辺地域に多大な損害を与えてきました。黒部川のはんらんを防ぐため、江戸時代の終わり頃に流路が現在の位置に固定されました。

海岸付近を波や沿岸流とともに移動している砂を沿岸漂砂といいます。下新川海岸の沿岸漂砂は左の写真のように全体として西向きに流れています（沖を流れる海流とは逆方向になります）。黒部川の流路が固定

されるまでは、その砂が下新川海岸全体に行き渡っていましたが、流路の固定によって現在では朝日町、入善町の海岸にはほとんど砂が来なくなってしまいました。

また、河川からの土砂流入が以前よりも少なくなったことや、漁港施設などによる沿岸漂砂の阻害も海岸侵食が進む一つの原因です。今では、黒部市の海岸も著しい侵食傾向にあります。

黒部河川事務所による海岸保全の取り組み

このような状況の中、黒部河川事務所では昭和35年より現在に至るまで、海岸防護や侵食防止のため、離岸堤・副離岸堤、直立堤防、緩傾斜堤防、消波工等の海岸保全施設を整備してきました。

これからの海岸事業は、海岸侵食に対する国土保全に加えて、よりよい海岸環境づくりをしていくことが大切であり、地域の皆様とともに未来の下新川海岸のあり方を考えていきたいと思っています。



3.2 アンケート質問票

〈 海岸背後地域住民用アンケート 〉

様式-A

あなたのご自宅から「最も近い距離にある海岸」について、教えていただくためのアンケートです。
このアンケートでは、これ以降「海岸」とだけ書きますが同じ意味です。あなたがよく行く海岸やよく知っている海岸についてではなく、ご自宅に一番近い「海岸」についてだけお答え下さい。

以下の問いについて該当する答えの数字に○を付けて下さい。

【問1】あなたはどちらにお住まいですか？

黒部市・入善町・朝日町 _____ 地区

記入例) (黒部市)入善町・朝日町 立野 地区

【問6】ご家族または近所の小学生以下の子供たちは「海岸」に行き遊びますか？(複数回答可)

1. 子供たちだけで行く 2. 大人といっしょなら行く
3. 「海岸」では遊ばない 4. わからない

【問2】あなたは「海岸」を利用しますか？

1. 利用する
2. 利用しない (→【問5】に進んでください)
3. 別の海岸に行く (→【問5】に進んでください)

【問7】子供たちは「海岸」で遊ばないと答えた方への質問です。「海岸」で遊ばない理由は何だと思いますか？(複数回答可)

1. 家や学校で禁止しているから 2. 深そうで海に落ちたら危ないから
3. ゴミがあるから 4. 遊ぶ場所がないから
5. 家から遠いから 6. 堤防などで水辺に降りられないから
7. わからない 8. その他 ()

【問3】あなたが「海岸」に行く回数を教えてください。

1. 毎日いく 2. 1週間に数回
3. 1ヶ月に数回 4. 1年に数回

【問4】「海岸」を利用する主な目的をお答え下さい。(複数回答可)
回答後、問6に進んでください。

1. 通行(通勤・通学など)
2. 海岸沿いの堤防上を散歩
3. 堤防下の波打ちぎわを散歩
4. お気に入りの場所でのんびり過ごす
5. 水辺で遊ぶ
6. 海水浴
7. マリンスポーツ(サーフィンなど)
8. 趣味や家庭で食べるための海産物採取 (海産物名:)
9. 釣り(魚の名:)
10. 収入源としての海産物採取 (対象魚介類名:)
11. 地域の行事・集まり
12. 特になし
13. その他()

【問8】「海岸」の利用について、以前と今の状況についてわかる範囲で教えてください。下の項目について「できるようになった」～「できなくなった」までのどれか一つに○をつけて下さい。
※以前とは昭和30～50年代頃を想定しています。

	以前からできる	できるようになった	しやすくなった	しにくくなった	できなくなった	以前からできない
1. 海岸沿いの堤防上を散歩						
2. 堤防下の波打ちぎわを散歩						
3. お気に入りの場所でのんびり過ごすこと						
4. 水辺で遊ぶこと						
5. 海水浴をすること						
6. マリンスポーツ (スポーツ名:)						
7. 貝や海藻採り (貝・海藻名:)						
8. 釣り (魚の名:)						
9. 収入源としての海産物採取 (対象魚介類名:)						
10. 地域の行事・集まり						
11. 車の通行						
12. その他 ()						

【問5】問2で、「利用しない」または「別の海岸に行く」を選択された方に伺います。「海岸」を利用しない理由を教えてください。(複数回答可)

1. 水辺に降りられないから 2. 砂浜がないから
3. 危ないから 4. 魅力を感じないから
5. 駐車場が少ないから 6. 通行しづらいから
7. 特に用事がないから 8. 景色が悪いから
9. その他 ()

【問9】あなたが「海岸」に求めることで、最も大切なことは次のどれですか？「一つだけ」選んでください。

1. 高波や津波が来ないように、高くて頑丈な堤防がある海岸
2. これ以上侵食されることがないような海岸
3. 貝や魚や海藻が多くすんでいる海岸
4. 景色のいい海岸
5. 車の通行ができ、駐車場やトイレなどがあり便利で人が集まる場所
6. 水辺に降りやすく、散歩や海水浴などができる海岸
7. わからない
8. その他()

【問10】今後の「海岸」の施設整備について伺います。あなたなら、下の三つの、どの分野を重視しますか？下の三つのそれぞれの枠のなかに、「0」から「100」までの数字を入れて、合計で100%にしてみてください。

津波対策、侵食対策などの防災面の強化 %

生物や景色に配慮した施設 %

水辺への降りやすさや砂浜の整備など、使いやすさ %

合計 100%

【問11】「海岸」においてあなたが最も深刻と考える、または心配している問題点は次のどれですか？「一つだけ」選んでください。

1. 堤防など海岸保全施設の破損や老朽化
2. 堤防を越えてくる高波の危険性
3. 風によって運ばれてくる「しぎき」による塩害
4. 異常気象時の緊急情報の入手方法がわからない
5. 海岸に散乱するゴミまたはゴミの不法投棄
6. 雑草が多い
7. 景観がわるい
8. 木陰がない
9. 水辺に降りにくい
10. 砂浜がない
11. 駐車場やトイレなどの利便施設がない
12. わからない
13. その他()

【問12】あなたが「海岸」をよりよくするために、個人的に、または地域として取り組んでもよいと考えることは次のどれですか？(複数回答可)

1. 海岸清掃
2. 草刈り
3. 堤防や波消しブロックなどの異常個所の点検、通報
4. 高潮や津波発生時のお年寄りや体の不自由な方への連絡
5. 市・町や県、国への海岸の情報提供、ご自分の意見の伝達
6. 海岸についての知識を深める (関連セミナーや勉強会に参加するなど)
7. 地区の「海岸を守る会」などの組織化
8. 何もしたくない
9. わからない
10. その他()

【問13】記入された方について教えてください。

【性別】該当する性別にマルをつけてください
男性 女性

【年齢】該当する年齢にマルをつけてください
10代 20代 30代 40代
50代 60代 70歳以上

【問14】最後に、この他に下新川海岸についての「思い」やご意見等がありましたら、下にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

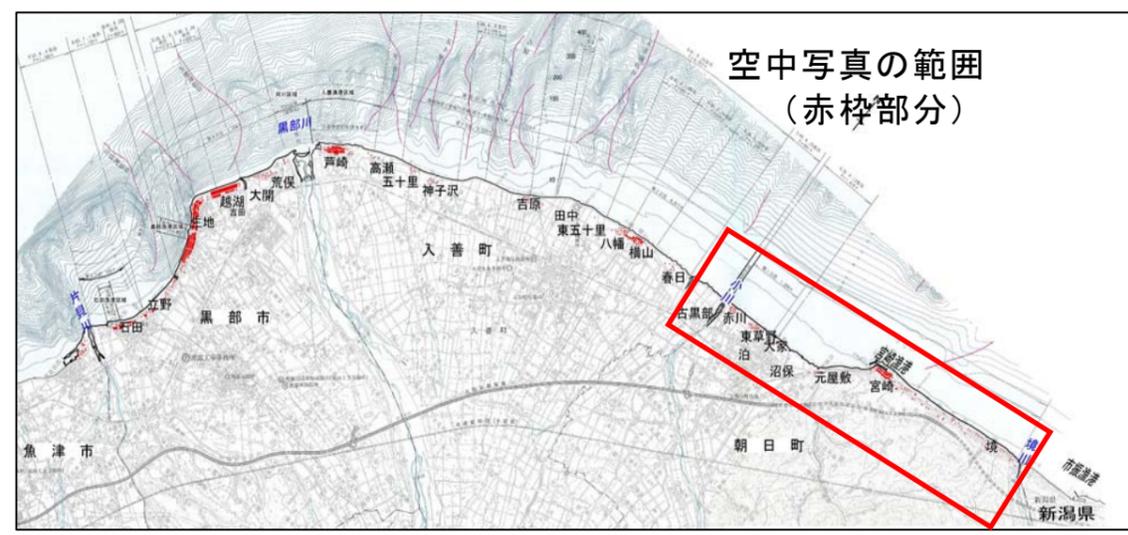
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

3.3 市町別参考資料

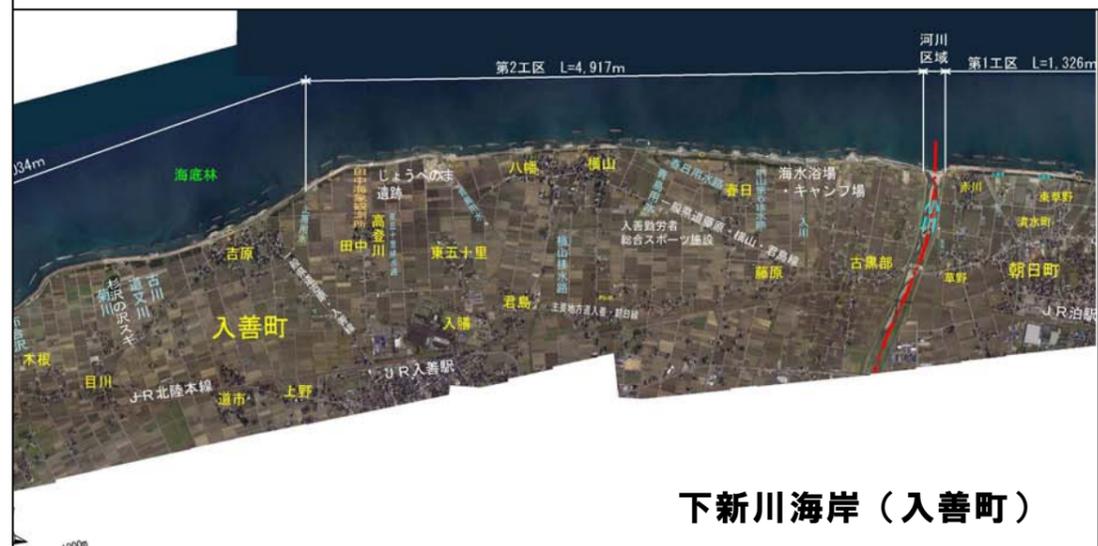


下新川海岸（黒部市）

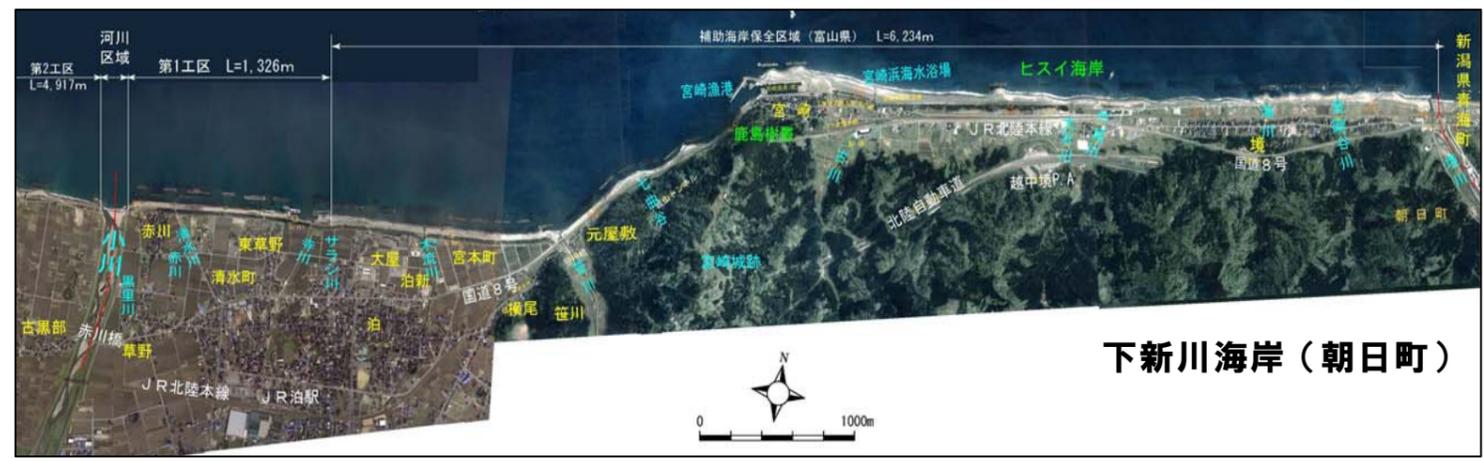
空中写



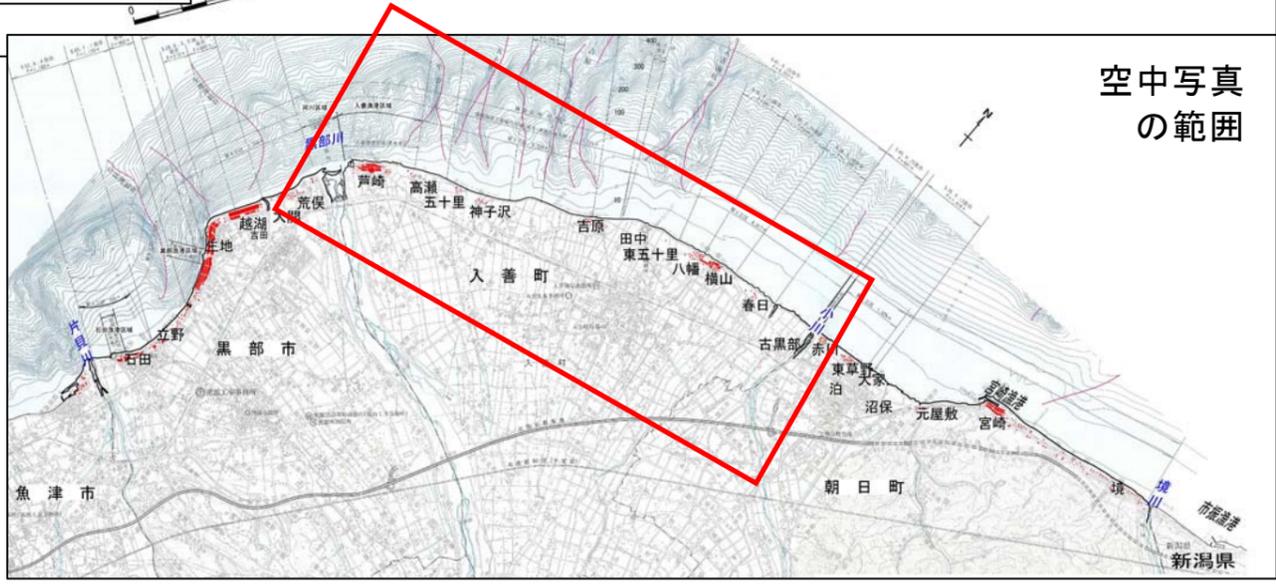
空中写真の範囲
（赤枠部分）



下新川海岸（入善町）

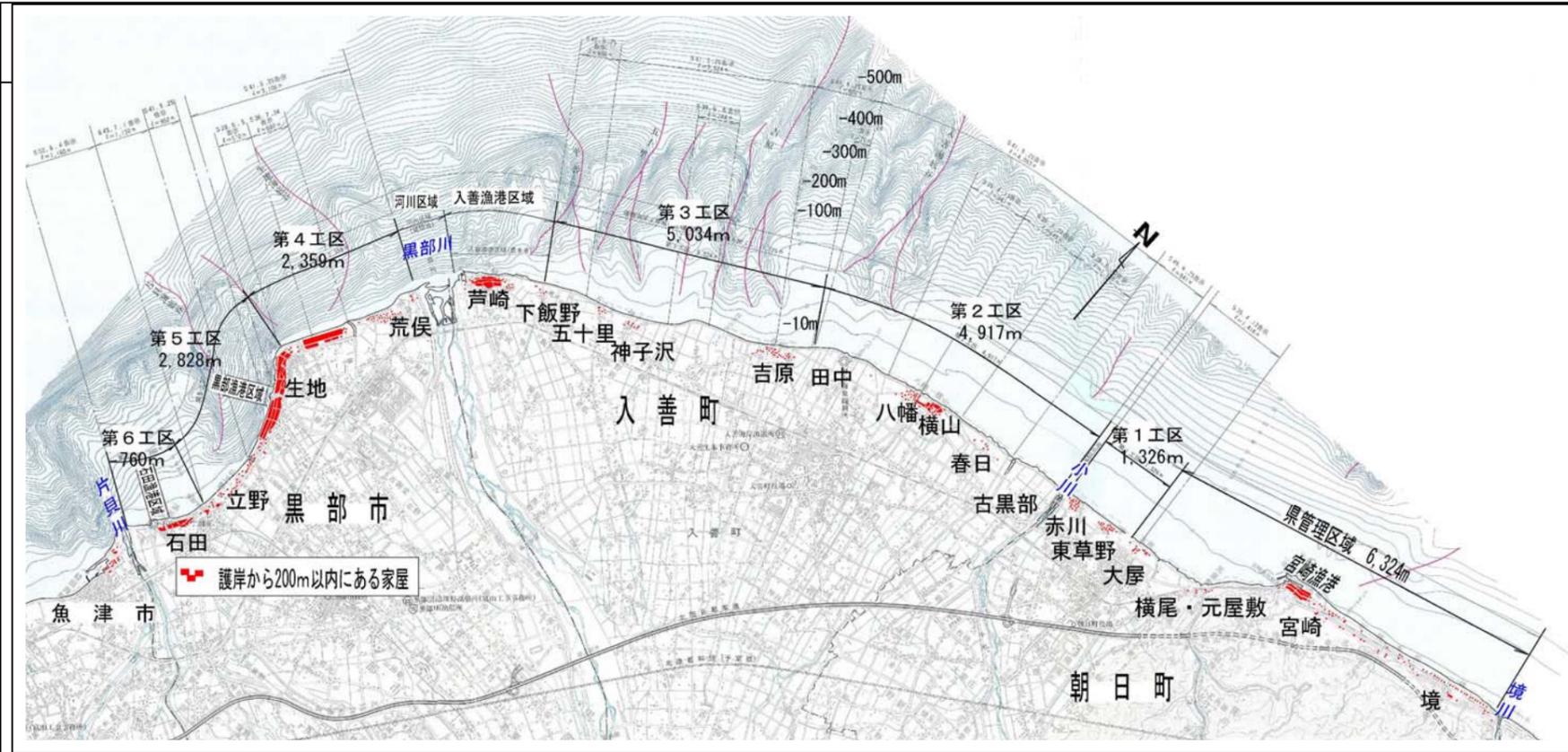


下新川海岸（朝日町）



空中写真の範囲

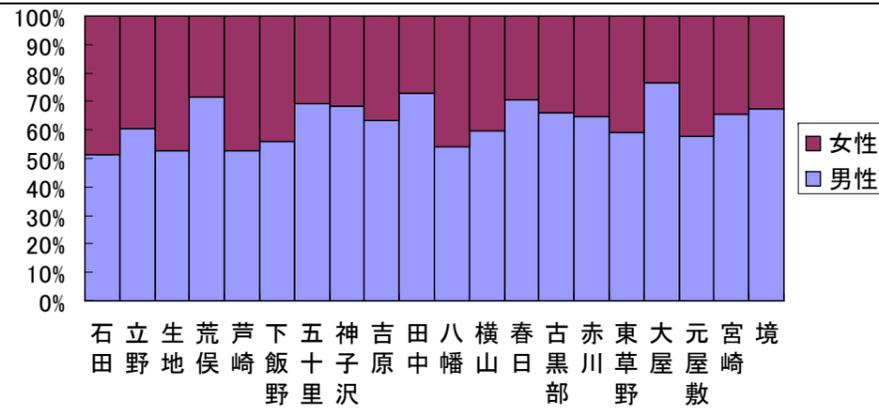
4. アンケート結果



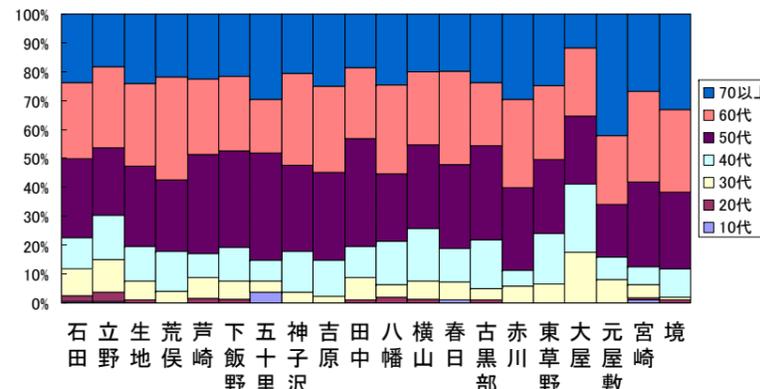
市町名	地区名	回答者数	該当工区
朝日町	境	95	県管理区間
	宮崎	113	
	元屋敷・横尾	39	
	大屋	17	
	東草野	125	
	赤川	91	
朝日町計		480	
入善町	古黒部	104	第2工区
	春日	112	
	横山	159	
	八幡	94	
	田中	101	
	吉原	168	第3工区
	神子沢	108	
	五十里*	27	
	下飯野	176	
	芦崎	280	
入善町計		1,329	県管理区間
黒部市	荒俣	103	第4工区
	生地**	788	第5工区
	立野	193	第5工区
	石田	594	第6工区
黒部市計		1,678	
全体計		3,487	

* 高瀬(2)を含む
** 吉田(1)を含む

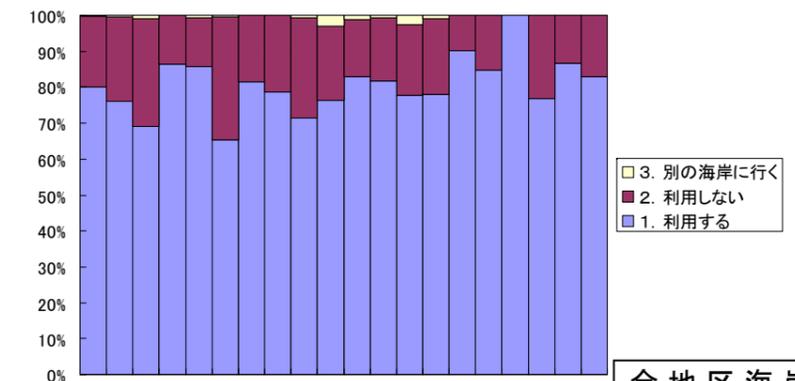
回答者の性別



回答者の年齢



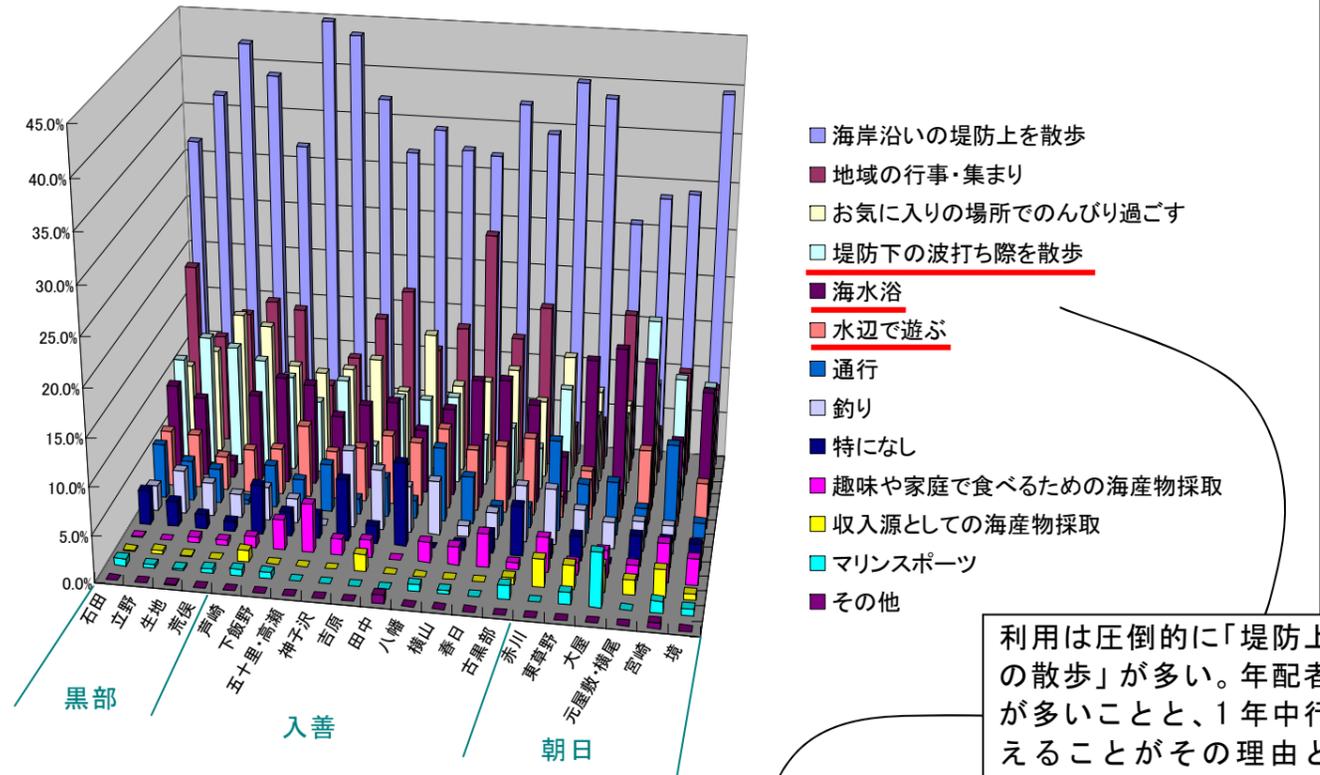
問2：あなたは海岸を利用しますか？



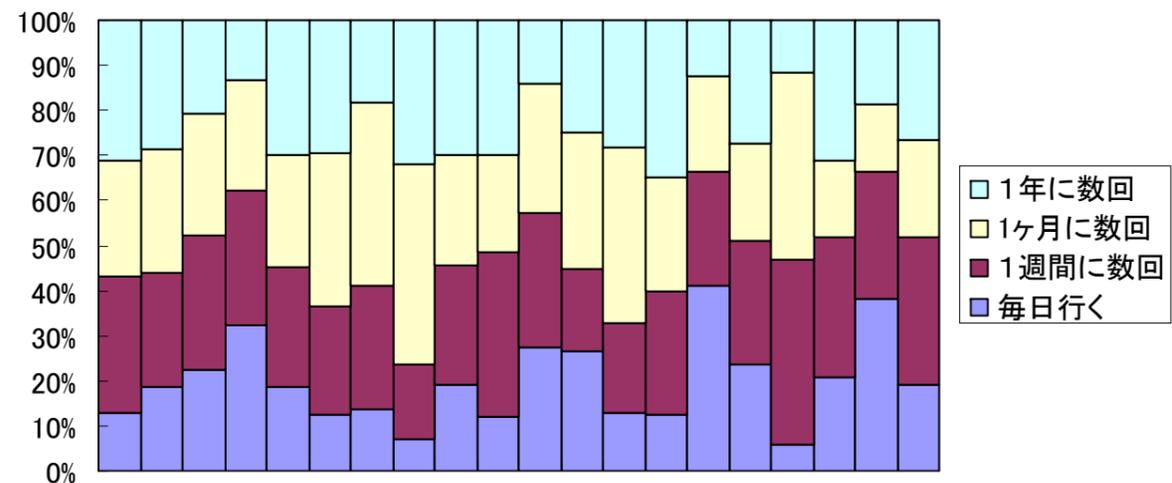
全地区海岸の利用率はほぼ同様であった。

50歳以上の回答者がほぼ8割を占める。30歳台以下は10%未満であった。

問4：あなたが海岸を利用する主な目的を教えてください（複数回答）

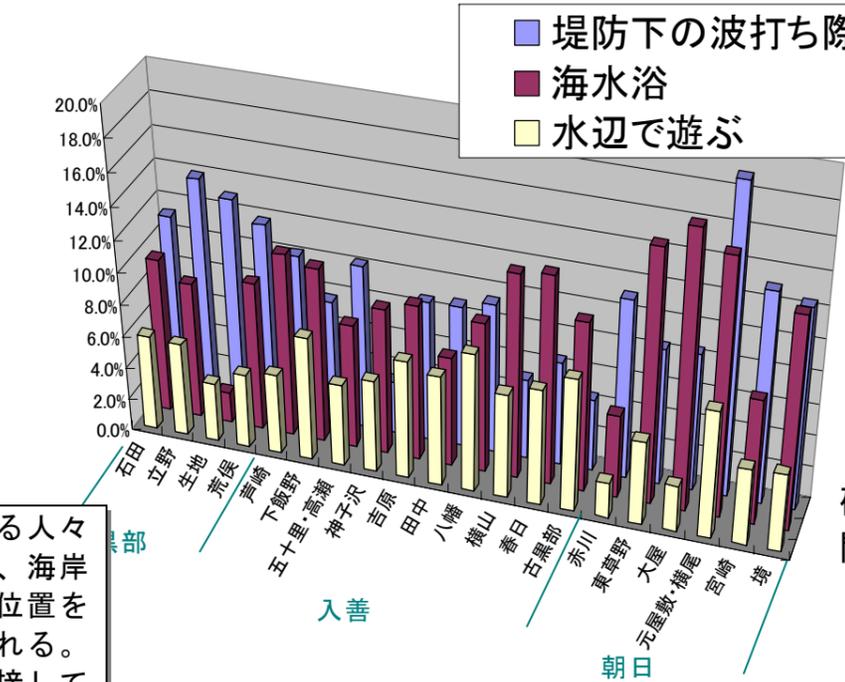


問3：あなたが海岸に行く回数を教えてください



石田 立野 生地 荒俣 芦崎 下飯野 五十里 神子沢 吉原 田中 八幡 横山 春日 古黒部 赤川 東草野 大屋 元屋敷 宮崎 境
 黒部 高瀬 入善 朝日

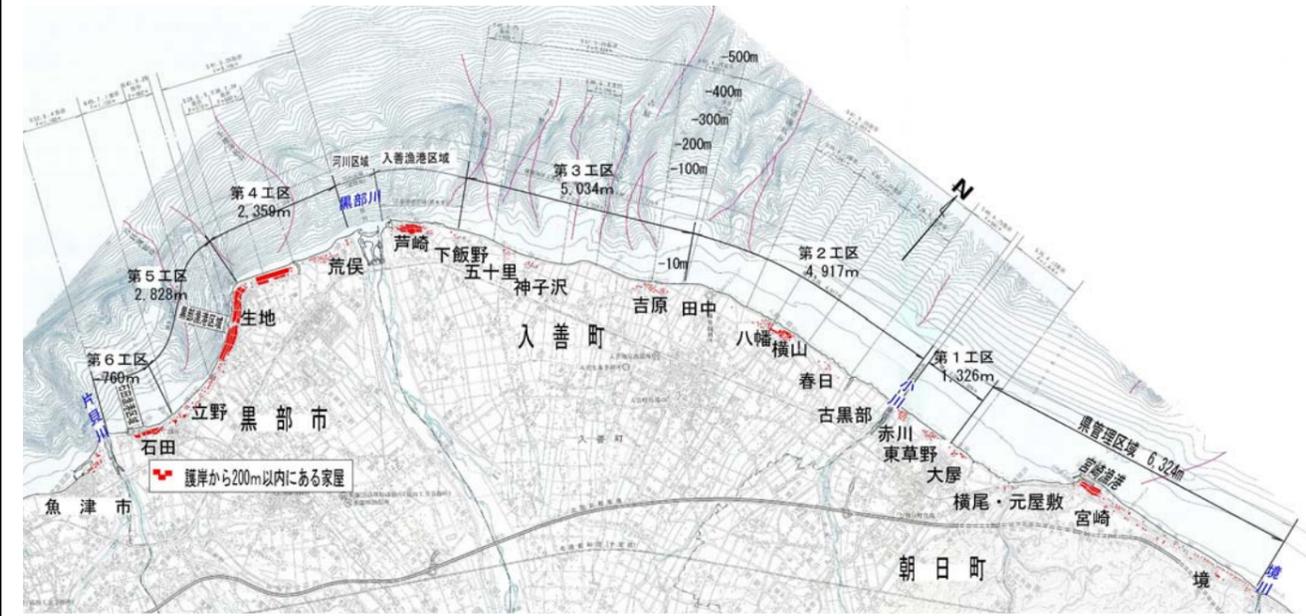
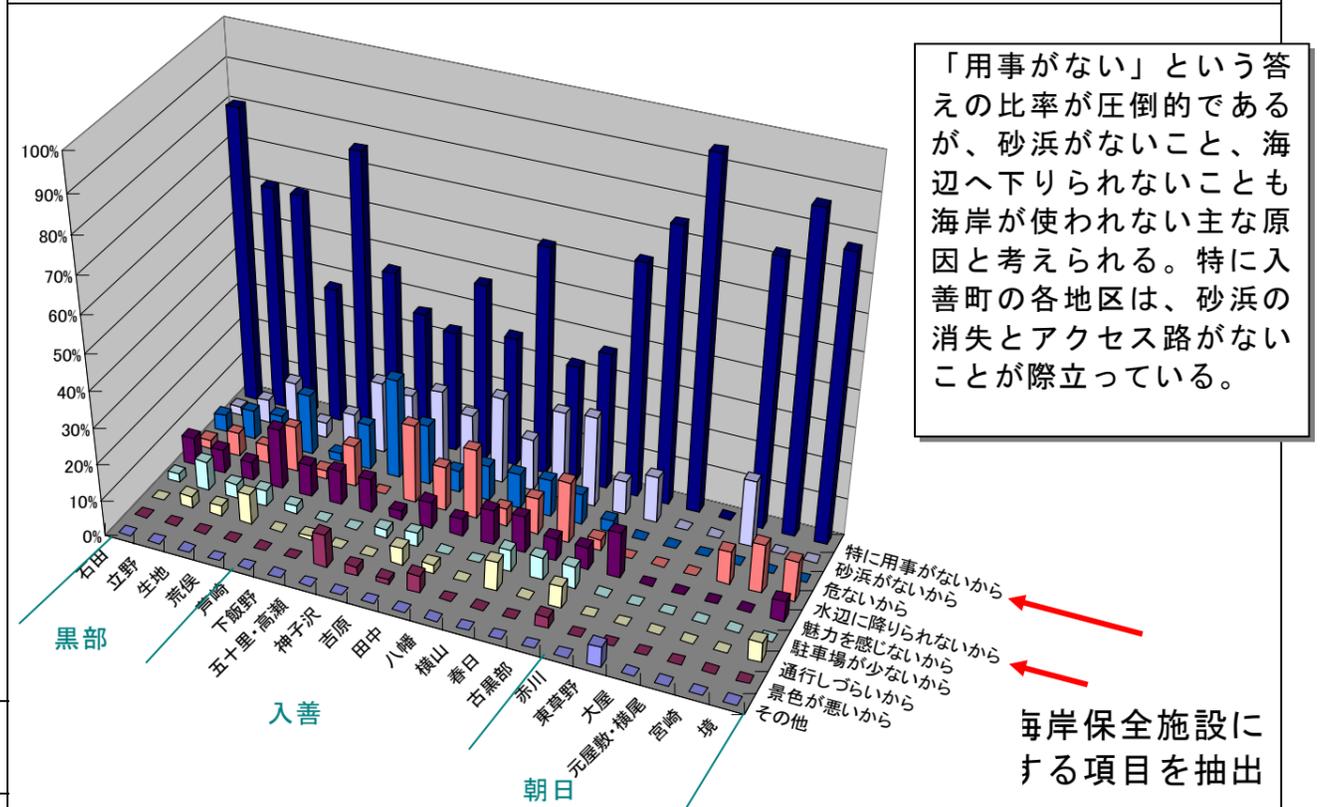
1ヶ月に数回以上利用する人々が7割以上いることから、海岸は生活空間として重要な位置を占めているものと考えられる。宮崎、赤川など海岸に近接している集落ほど利用比率は高い。



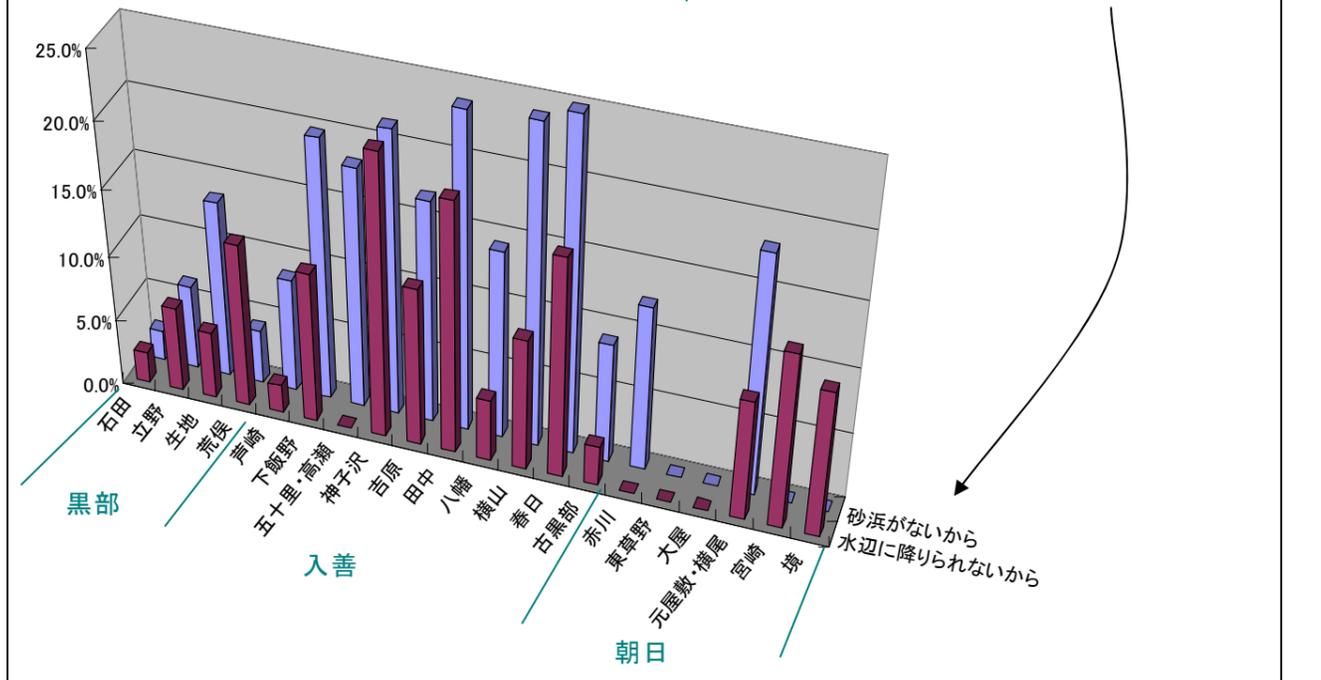
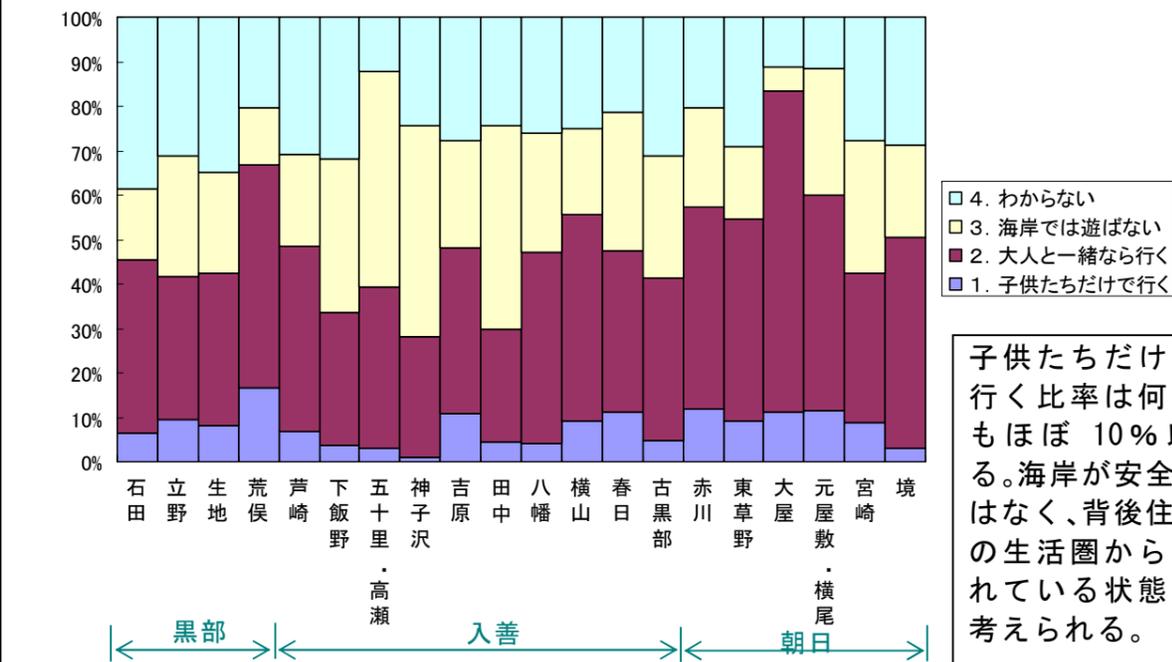
砂（礫）浜の有無に関連する項目を抽出

利用は圧倒的に「堤防上の散歩」が多い。年配者が多いことと、1年中行えることがその理由として考えられる。次に多いのは「地域の集まり」である。朝日町では「海水浴」が他より比較的多い。入善には砂浜がない場所が多いことから、水辺は散歩するという回答が少なかった。

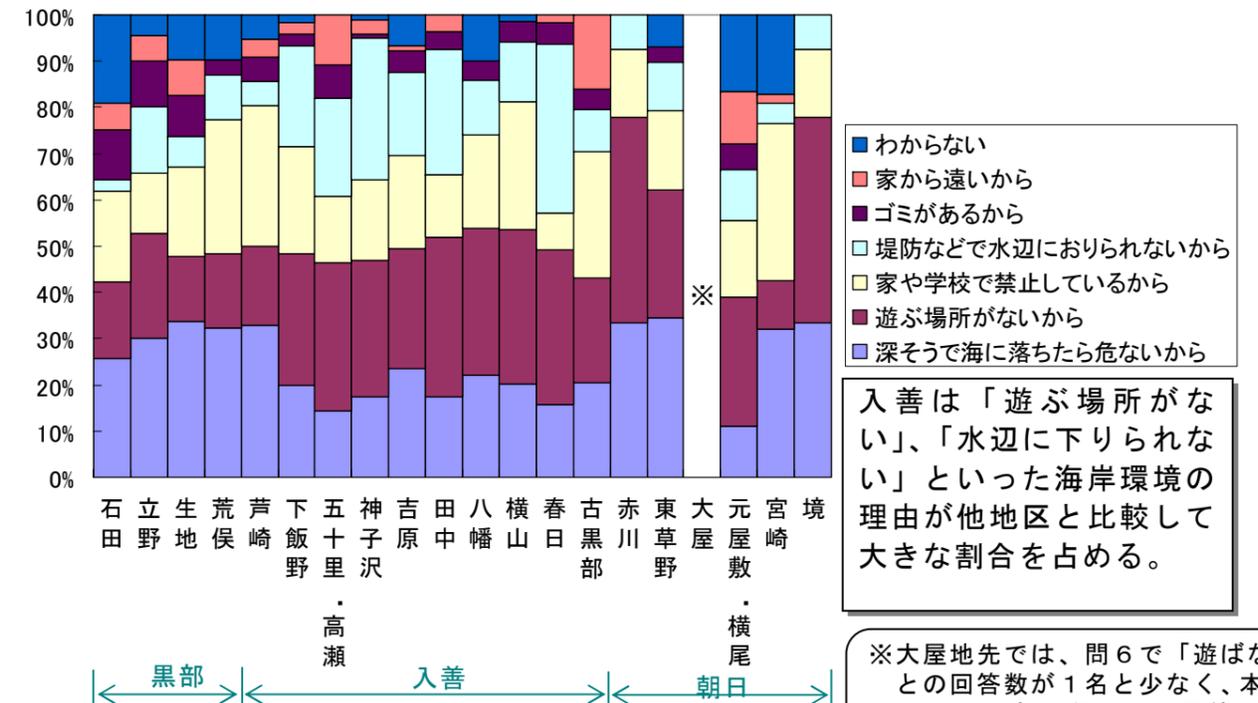
問5：あなたが海岸を利用しない理由を教えてください（複数回答）



問6：ご家族または近所の小学生以下の子供たちは海岸に行って遊びますか？（複数回答）



問7：子供たちが海岸で遊ばない理由は何だと思いますか？（複数回答）



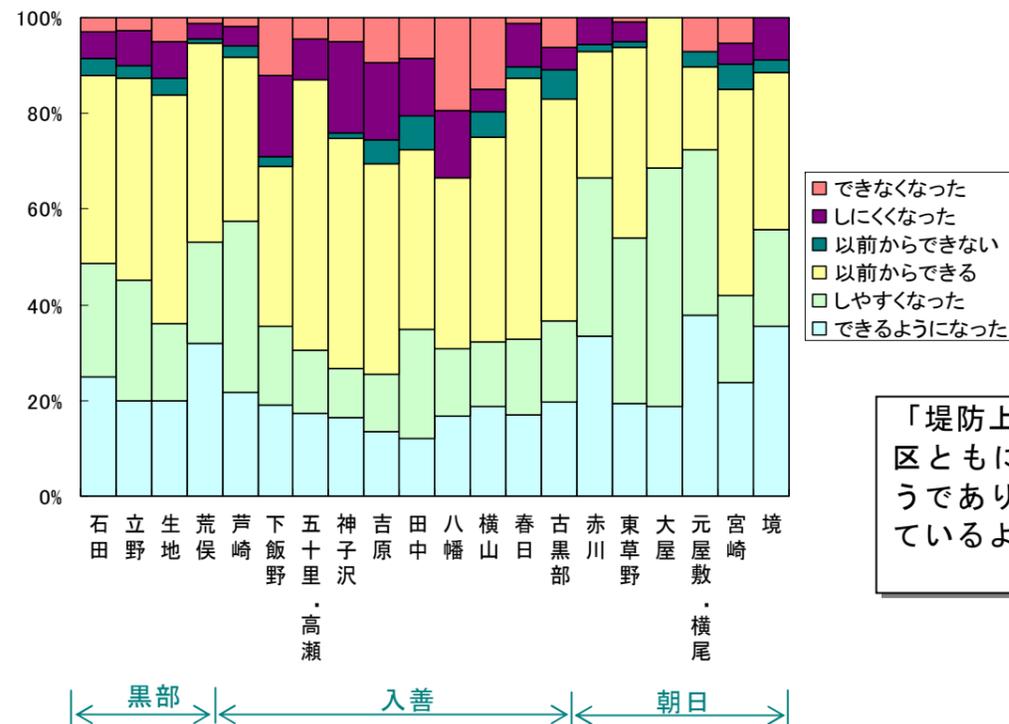
入善は「遊ぶ場所がない」、「水辺に下りられない」といった海岸環境の理由が他地区と比較して大きな割合を占める。

※大屋敷地先では、問6で「遊ばない」との回答数が1名と少なく、本設問についても1名のみでの回答であったため、ここでは図示していない



問8：海岸の利用の変化について教えてください（択一回答）

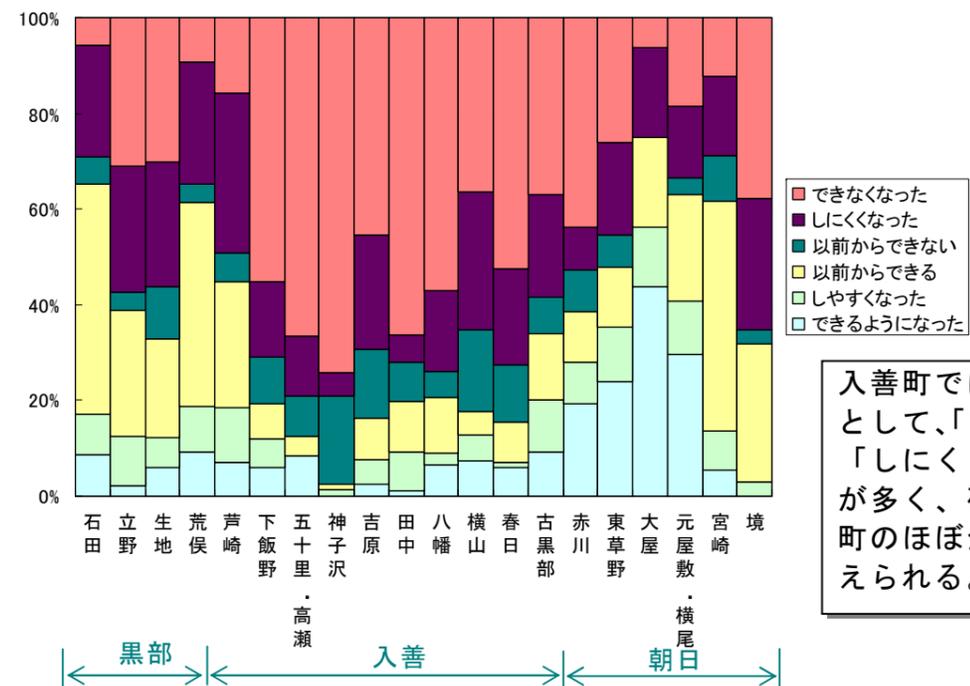
(1) 堤防上の散歩



「堤防上の散歩」は各地区とも概ねできるようであり、改善されてきているようである。

問8：(つづき)

(2) 堤防下の波打ち際の散歩

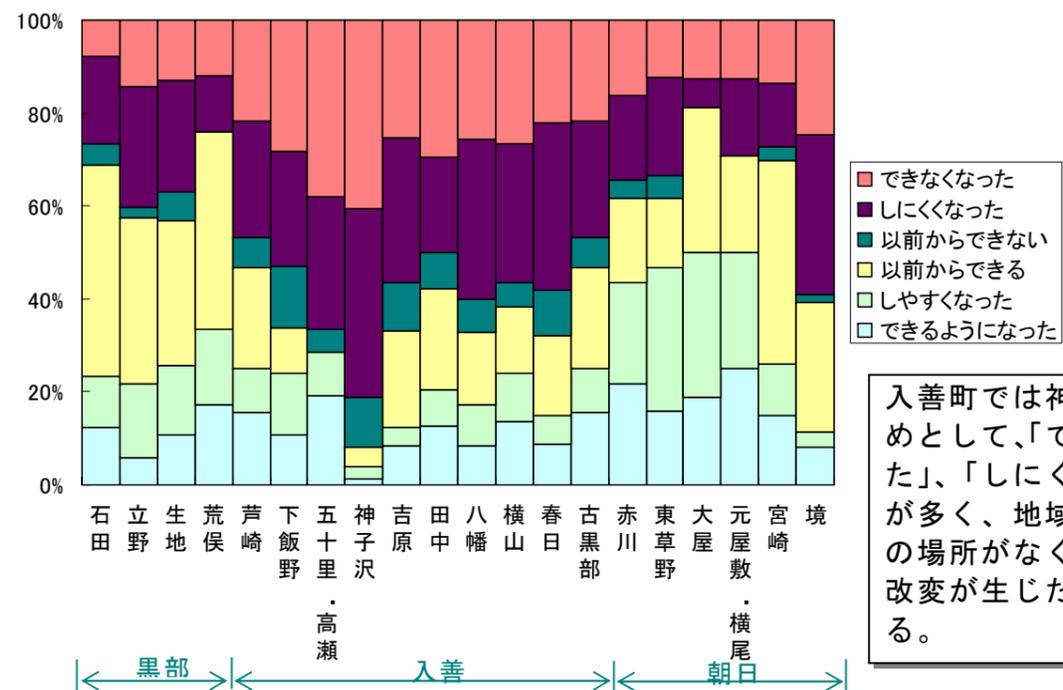


入善町では神子沢をはじめとして、「できなくなった」、「しにくくなった」の回答が多く、砂浜の消失が入善町のほぼ全域で生じたと考えられる。



問8：(つづき)

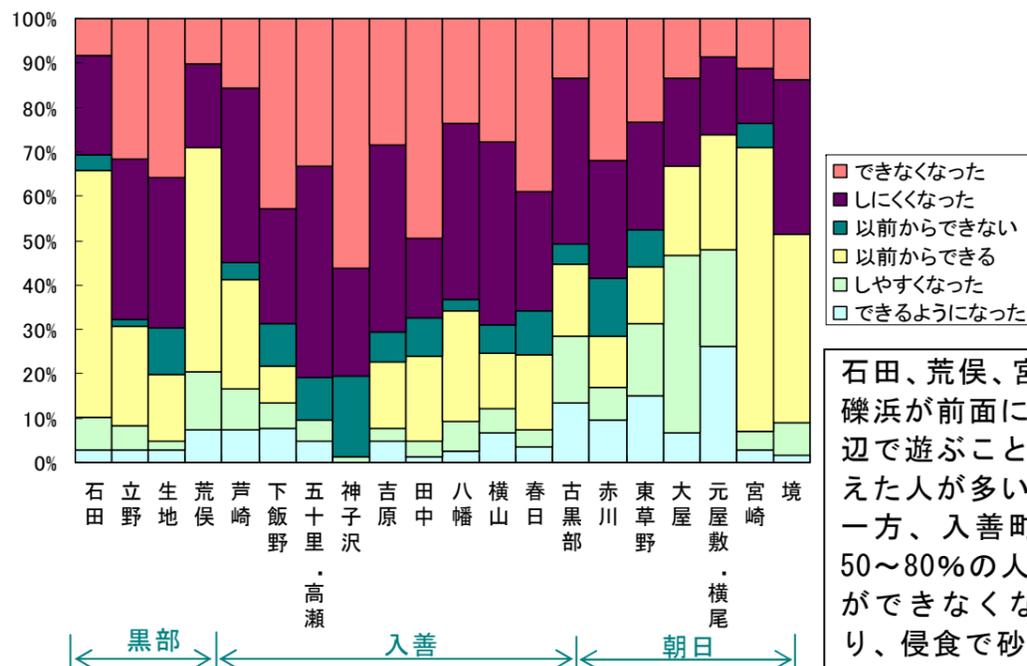
(3) お気に入りの場所でのんびり過ごすこと



入善町では神子沢をはじめとして、「できなくなった」、「しにくくなった」が多く、地域住民の憩いの場所がなくなるなどの変化が生じたと考えられる。

問8：(つづき)

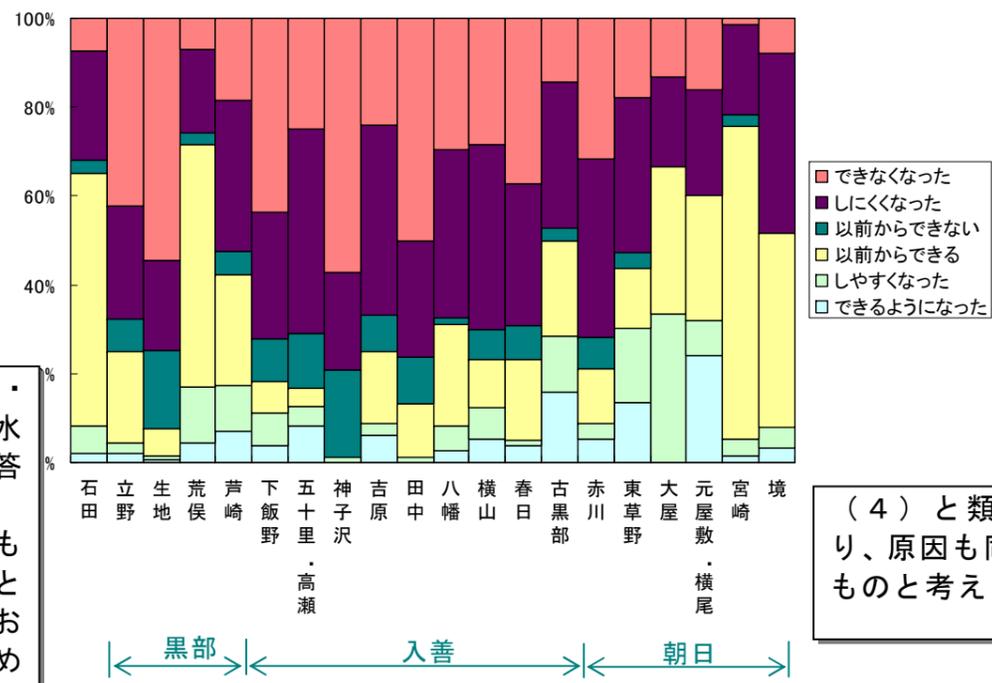
(4) 水辺で遊ぶこと



石田、荒俣、宮崎地区は、何れも砂・礫浜が前面にあるため、住民は「水辺で遊ぶことが以前から可能」と答えた人が多い。一方、入善町内では何れの地区も50~80%の人が「水辺であそぶことができなくなった」と回答しており、侵食で砂・礫浜が消失したためと考えられる。

問8：(つづき)

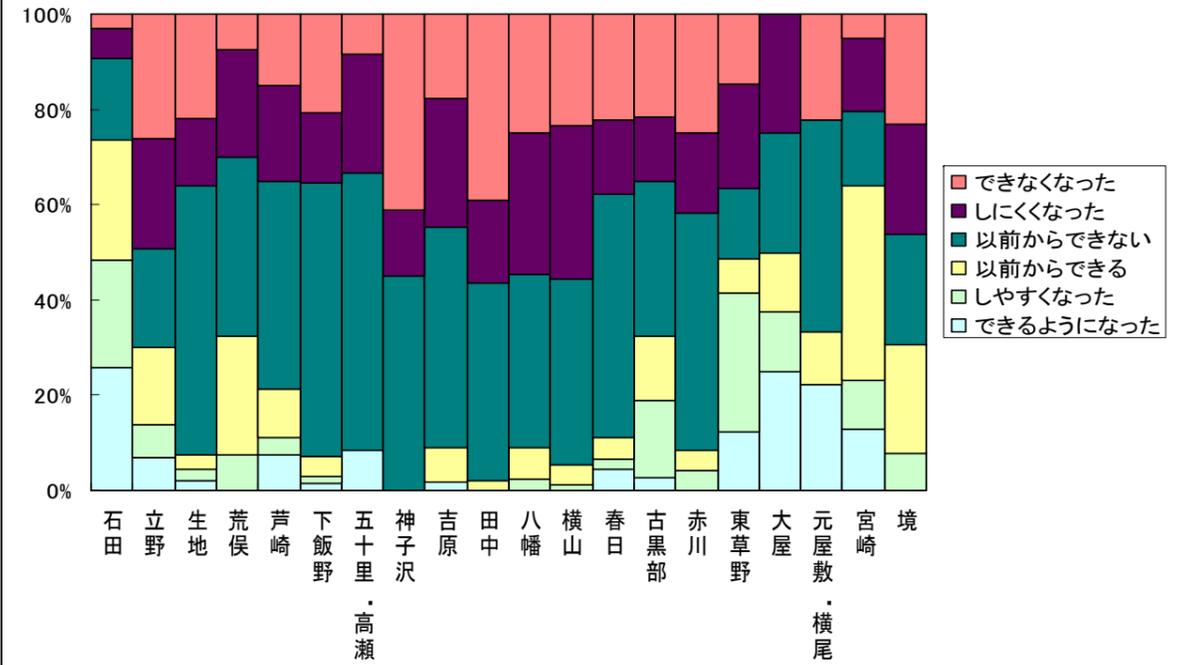
(5) 海水浴をすること



(4) と類似した結果であり、原因も同じく侵食にあるものと考えられる。

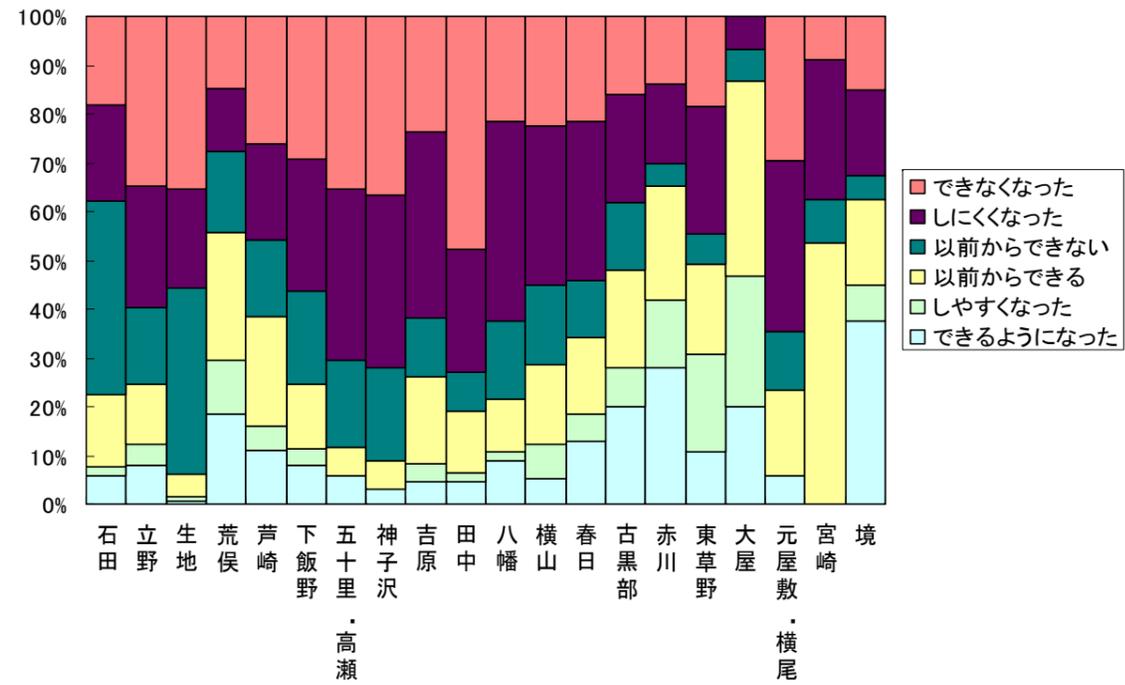
問8：(つづき)

(6) マリンスポーツ



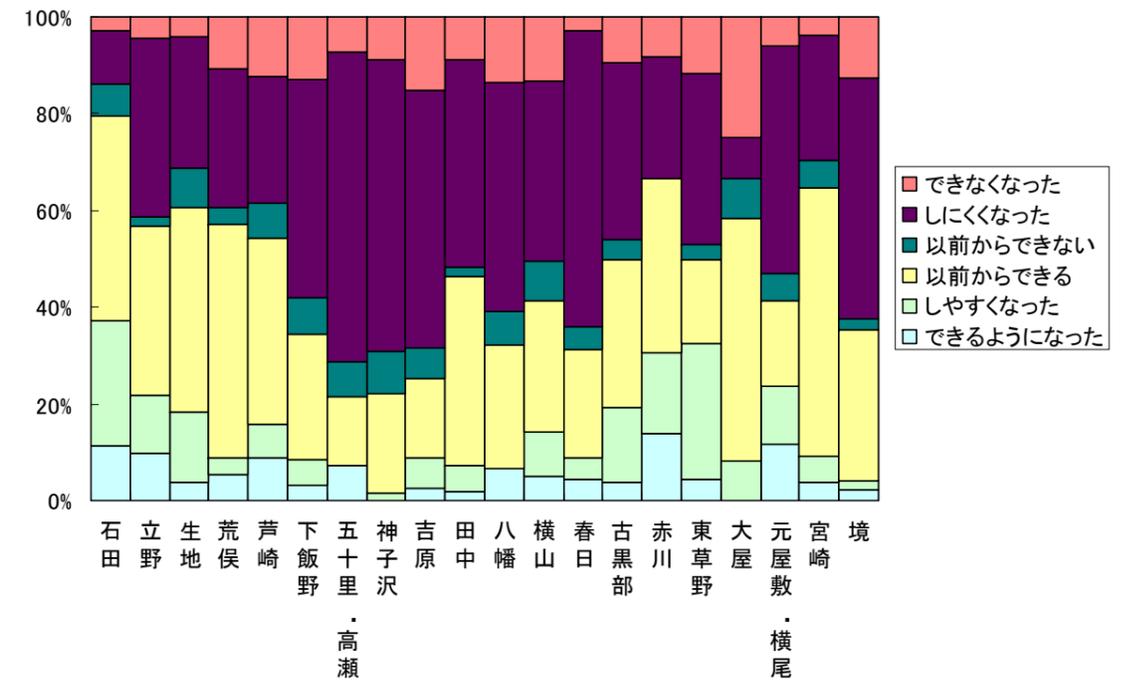
問8：(つづき)

(7) 貝や海藻採り



問8：(つづき)

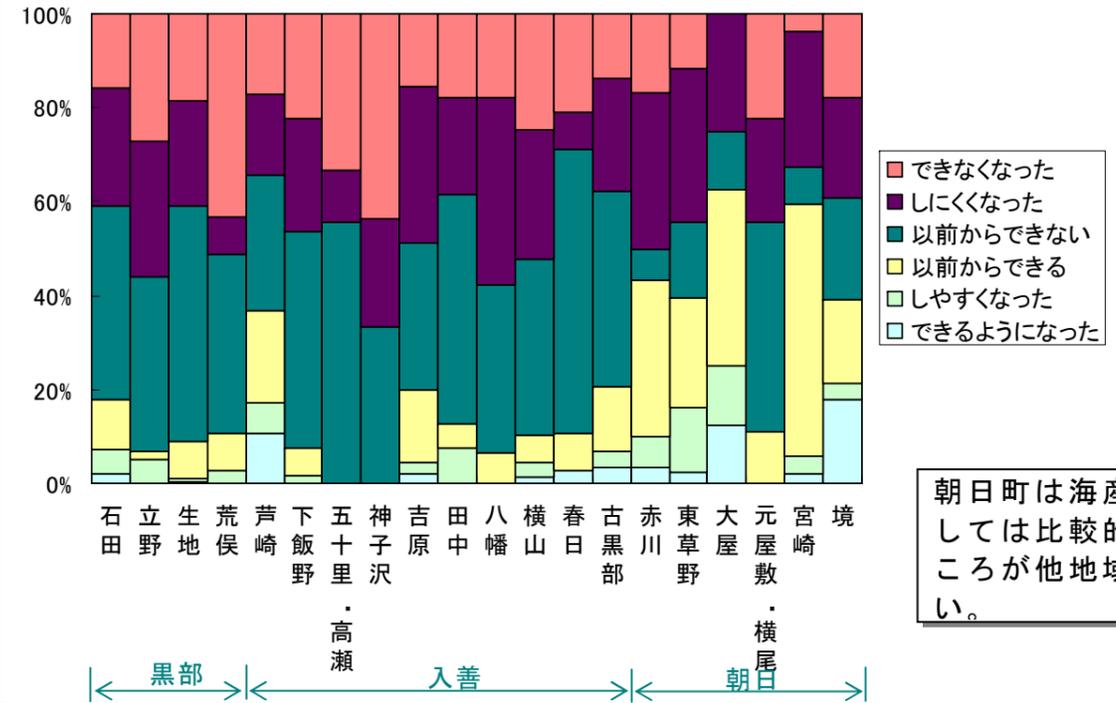
(8) 釣り





問8：(つづき)

(9) 収入源としての海産物採取

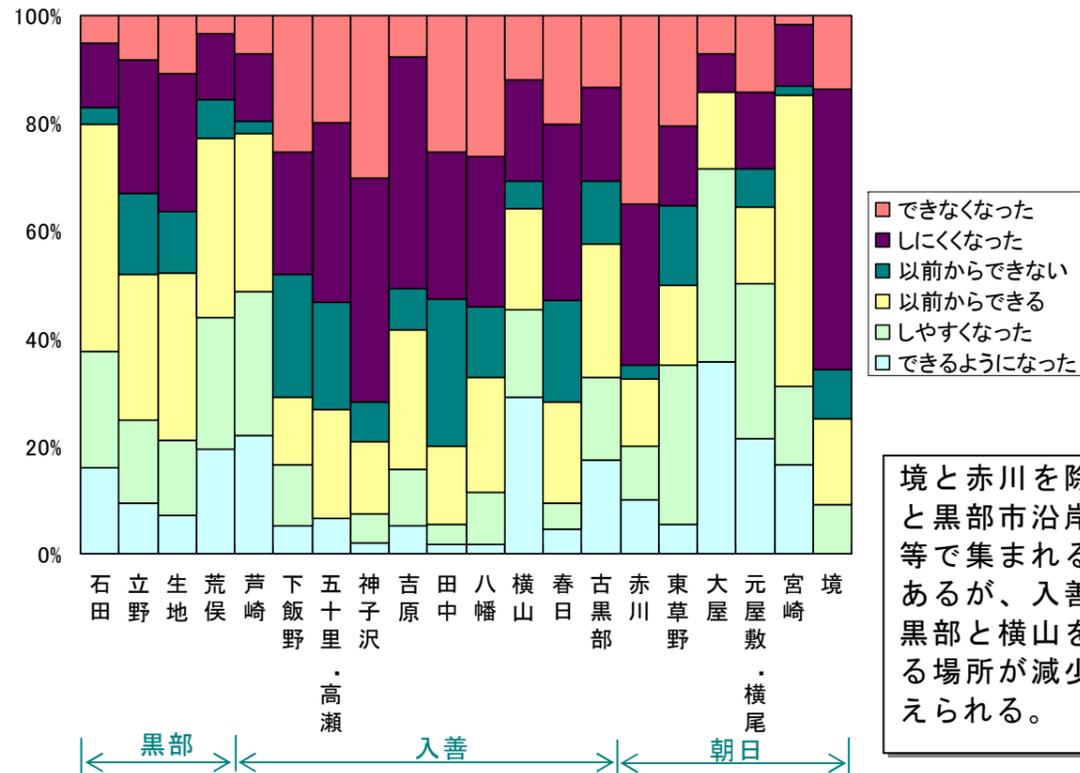


朝日町は海産物採取としては比較的可能なところが他地域よりも多い。

問8：(つづき)

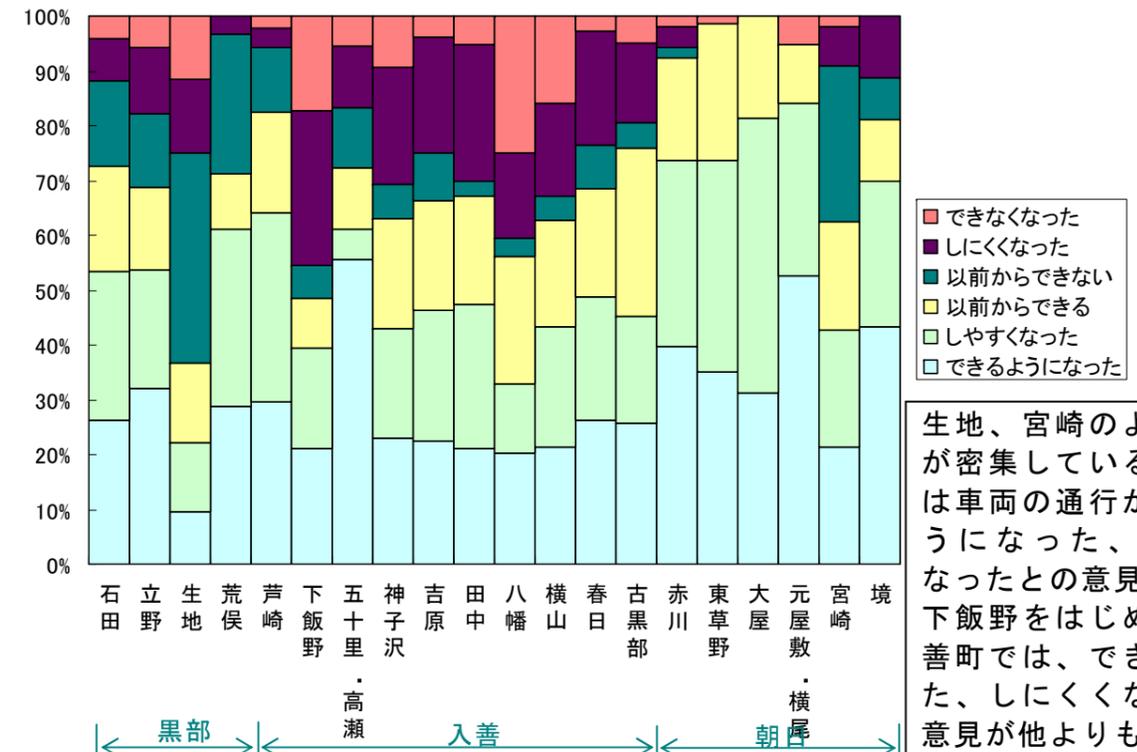
問8：(つづき)

(10) 地域の行事・集まり



境と赤川を除く朝日町沿岸と黒部市沿岸では地域行事等で集まれる場所が海岸にあるが、入善町沿岸では古黒部と横山を除いて集まれる場所が減少していると考えられる。

(11) 車の通行

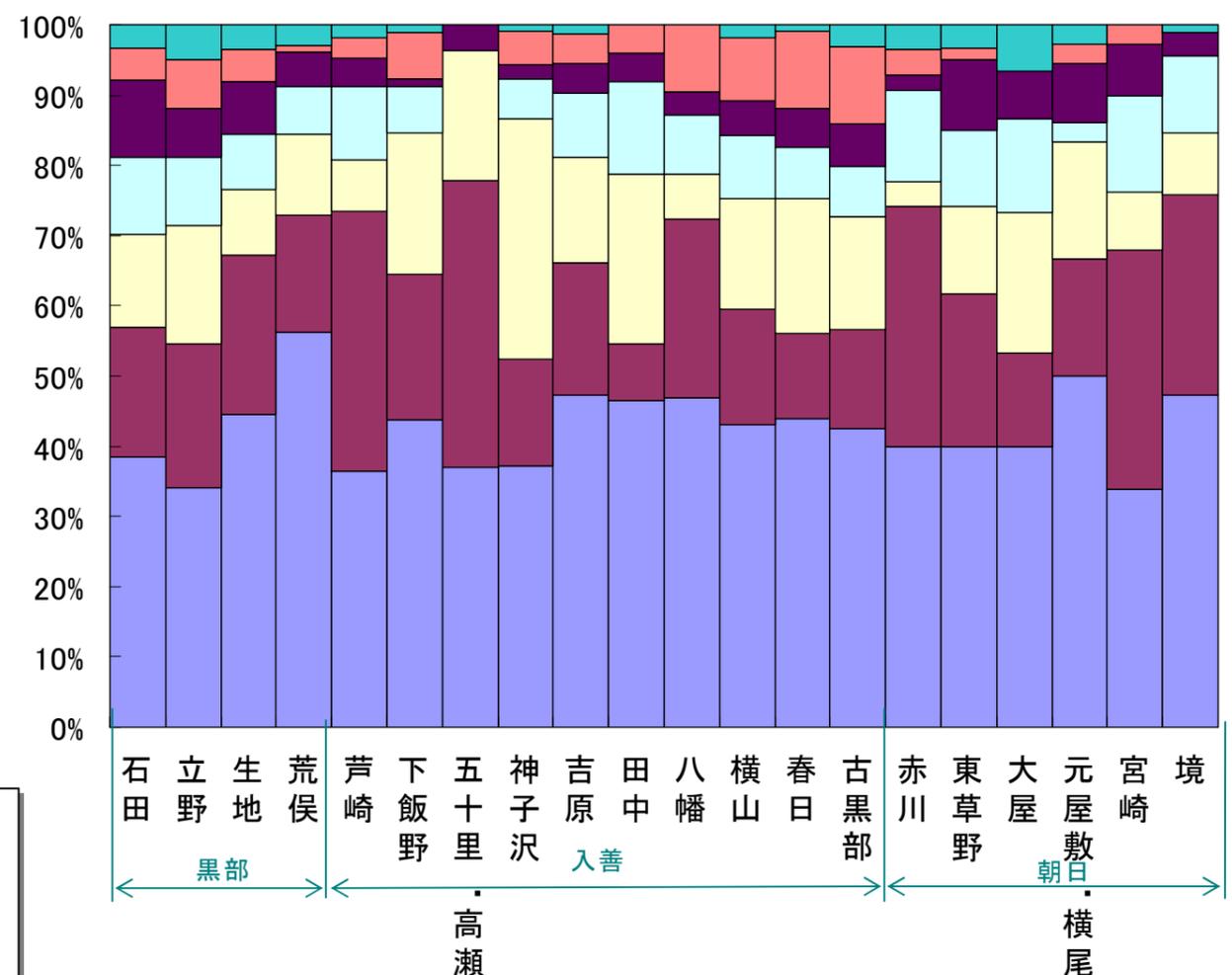


生地、宮崎のように宅地が密集している地区以外は車両の通行ができるようになった、しやすくなったとの意見が多い。下飯野をはじめとした入善町では、できなくなった、しにくくなったとの意見が他よりも多い。



問9：あなたが海岸に求めることで、最も大切なことは次のどれですか？
(択一回答)

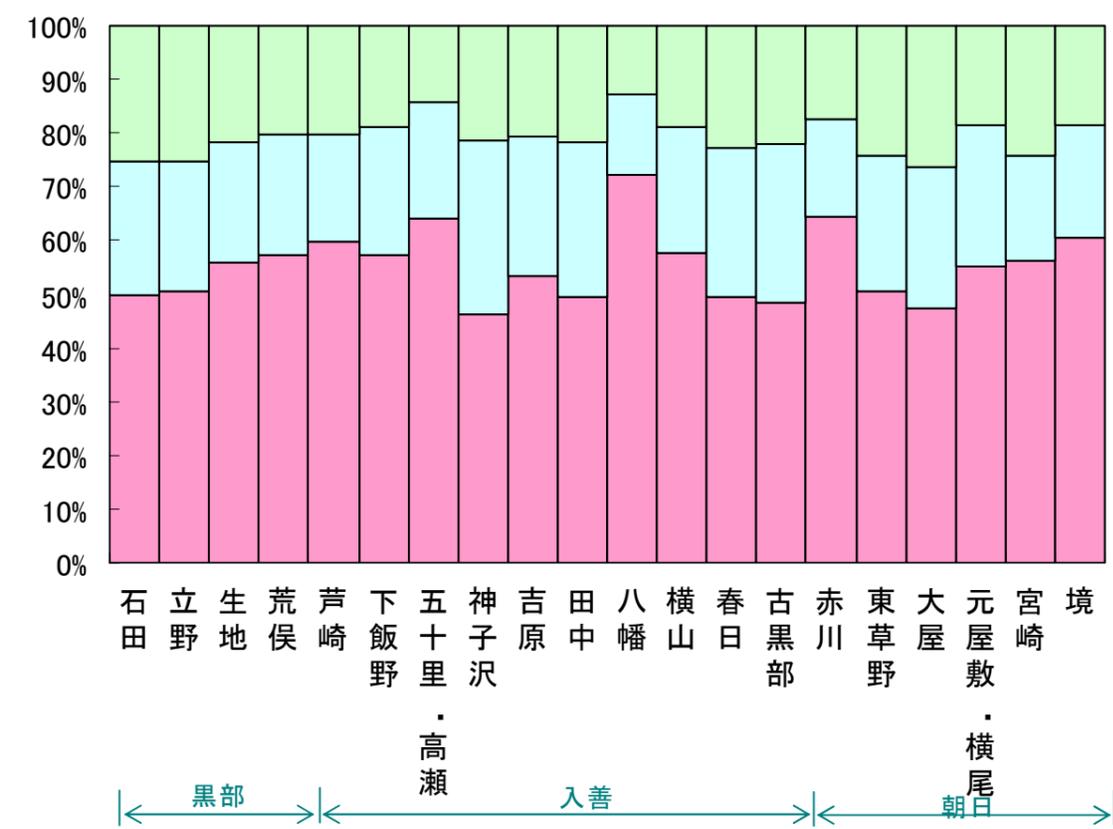
- わからない
- 車の通行ができ、駐車場やトイレなどがあり便利で人が集まる場所
- 景色のいい海岸
- 貝や魚や海藻が多くすんでいる海岸
- 水辺に降りやすく、散歩や海水浴などができる海岸
- 高くて頑丈な堤防がある海岸
- これ以上侵食されることがないような海岸



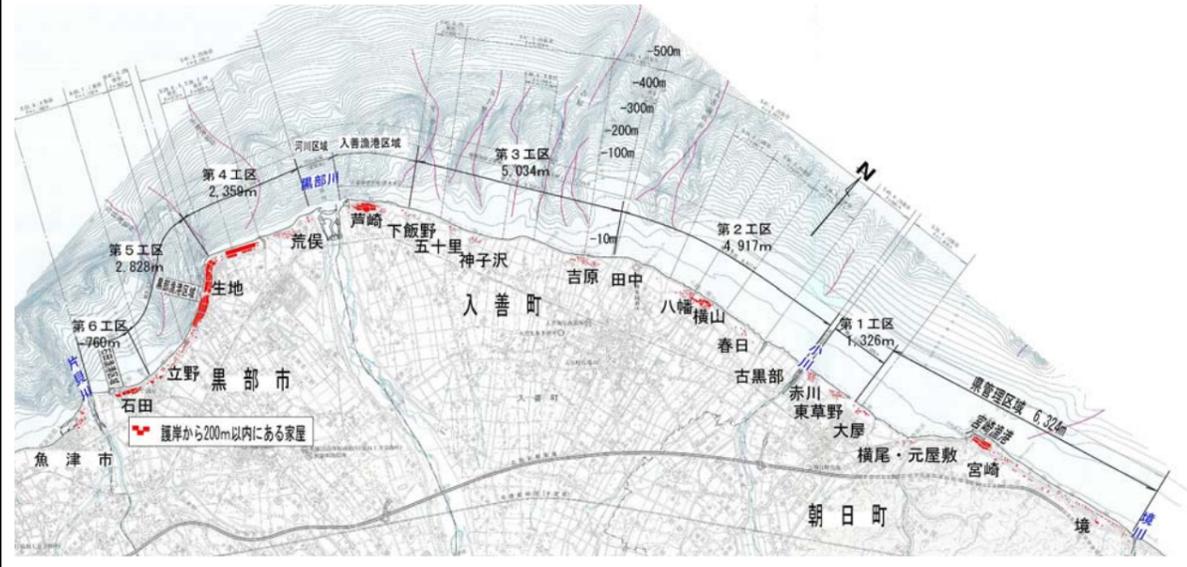
問10で、防護が優先された結果を得たが、具体的に海岸に求めるものは、「これ以上侵食されることがないような海岸」との回答が多い。「頑丈な堤防を求める」と回答した率が高いのは、五十里、芦崎、赤川、宮崎、境、八幡である。

問10：今後の海岸整備について、あなたならどの分野を重視しますか？

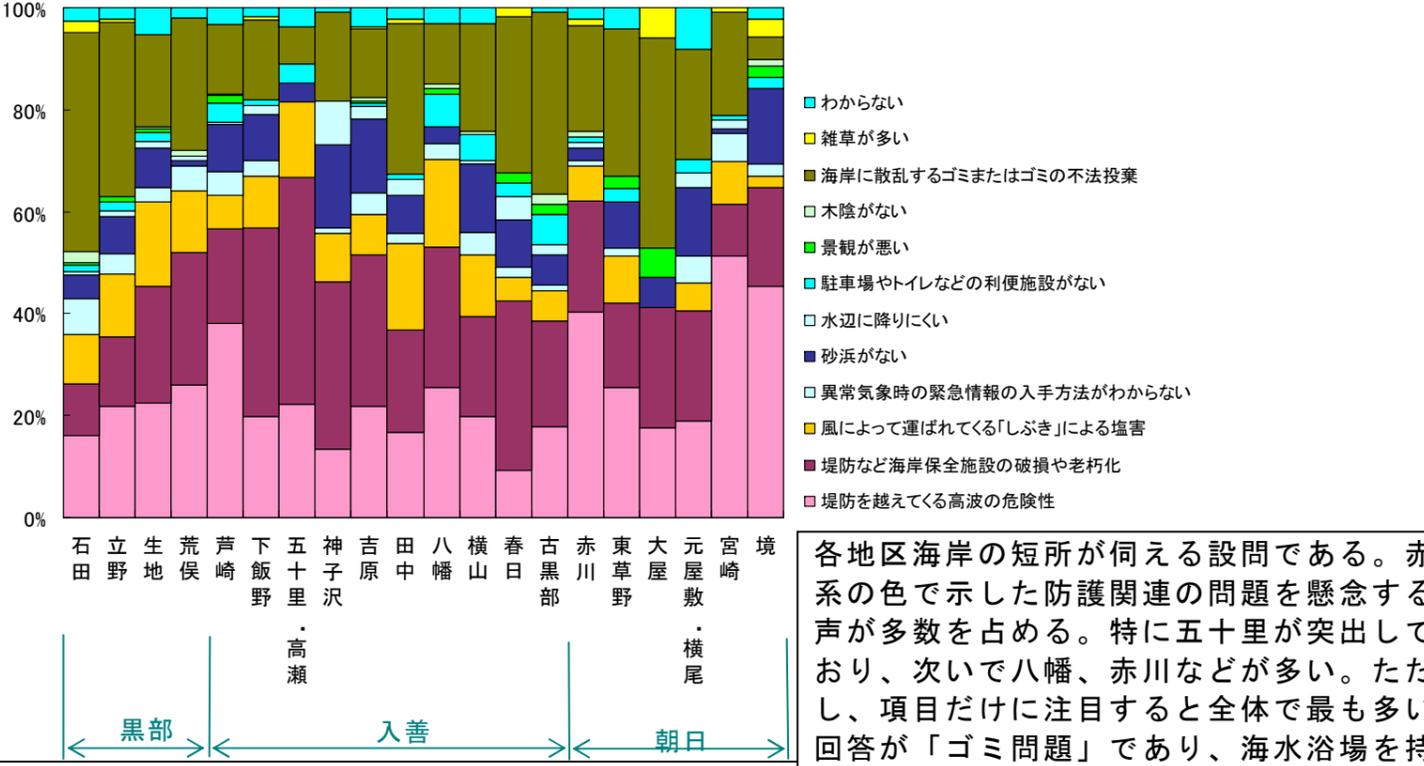
(地区毎の回答の平均)



防護が優先される結果は全地区共通である。

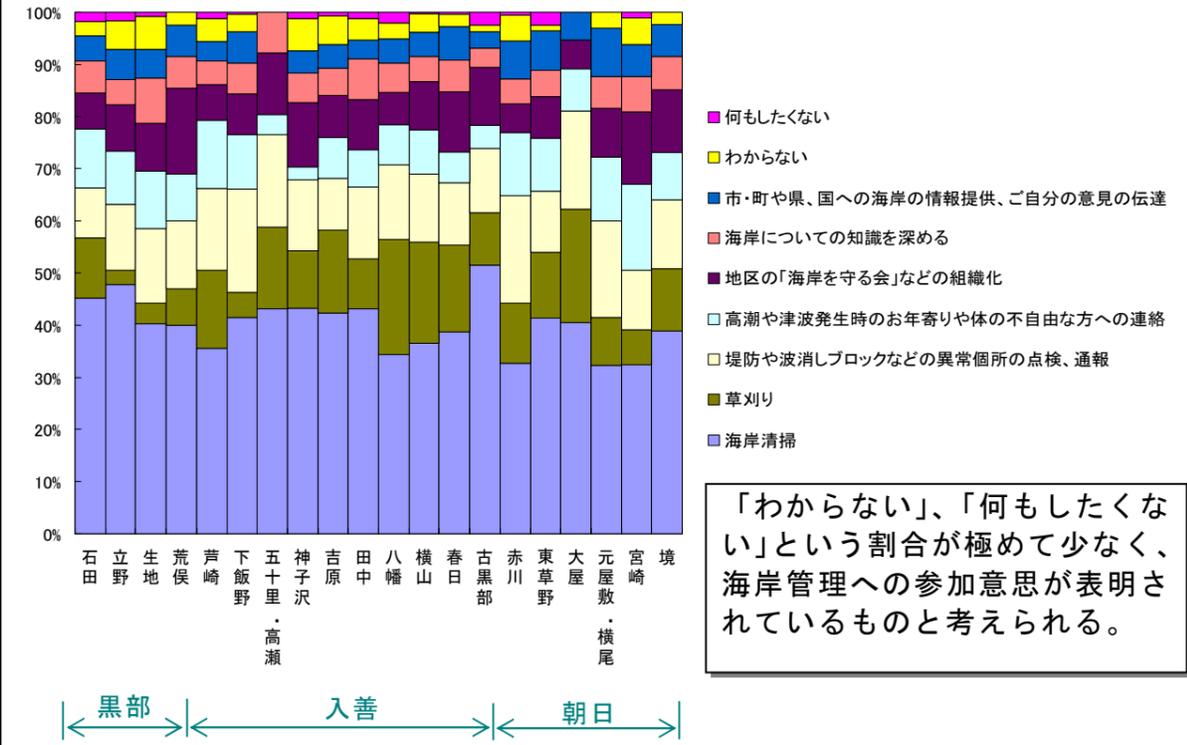


問11：あなたが最も重視する、または心配している問題点はどれですか？
(択一回答)



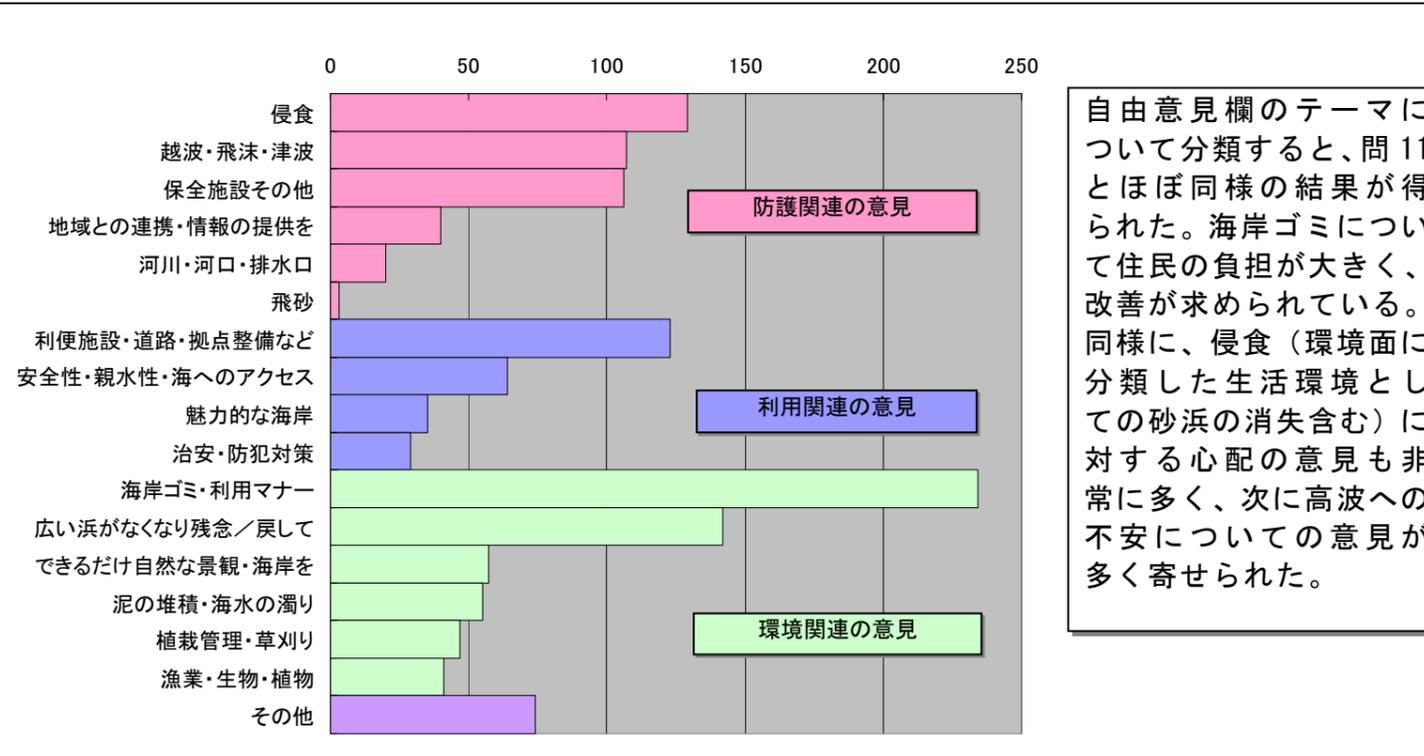
各地区海岸の短所が伺える設問である。赤系の色で示した防護関連の問題を懸念する声が多数を占める。特に五十里が突出しており、次いで八幡、赤川などが多い。ただし、項目だけに注目すると全体で最も多い回答が「ゴミ問題」であり、海水浴場を持つ地区の背後に特に多い。

問12：海岸をよりよくするために、個人的に、もしくは地域として取り組んでもよいと考えることは次のどれですか？



「わからない」、「何もしたくない」という割合が極めて少なく、海岸管理への参加意思が表明されているものと考えられる。

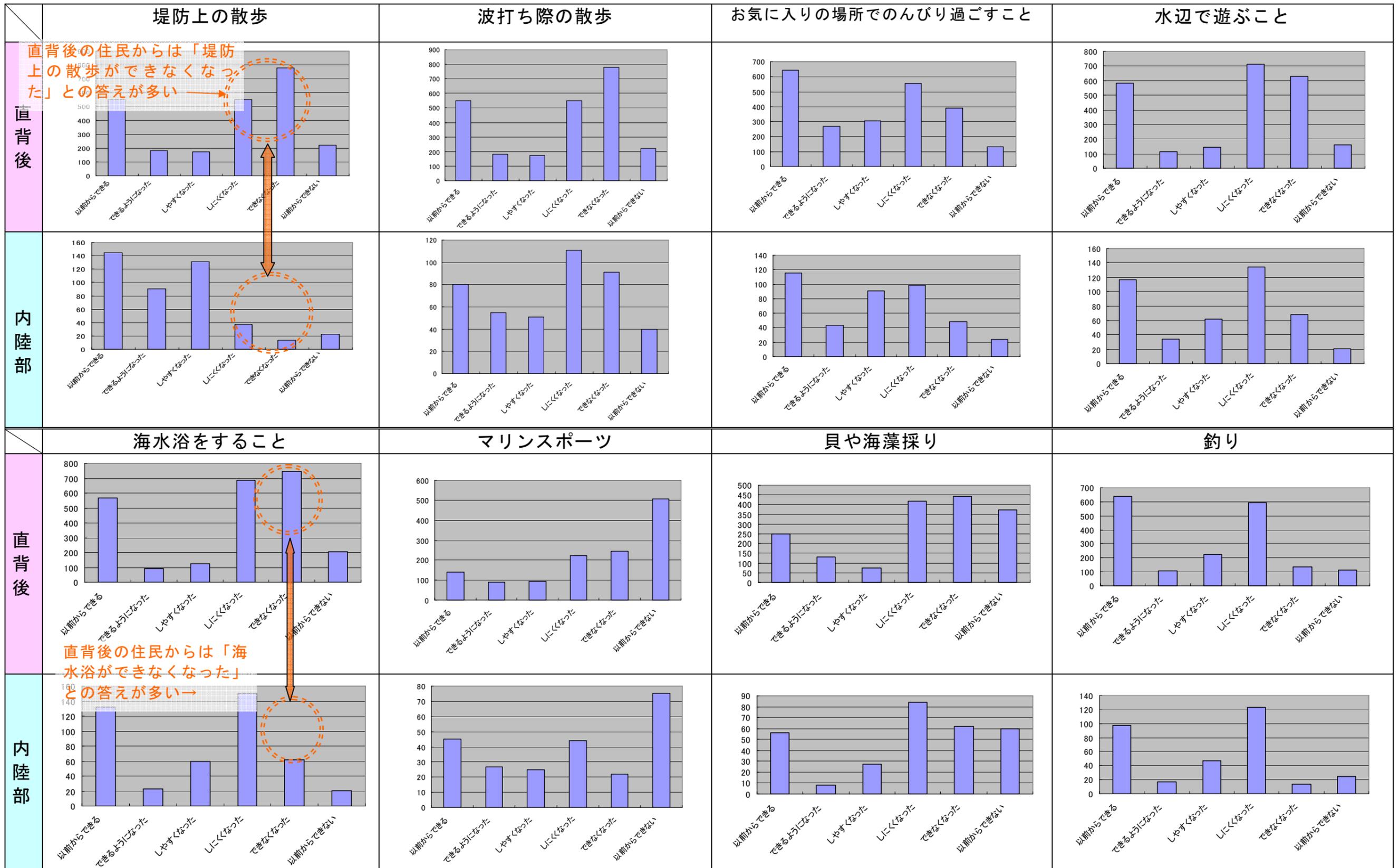
問14：下新川海岸についての思いやご意見

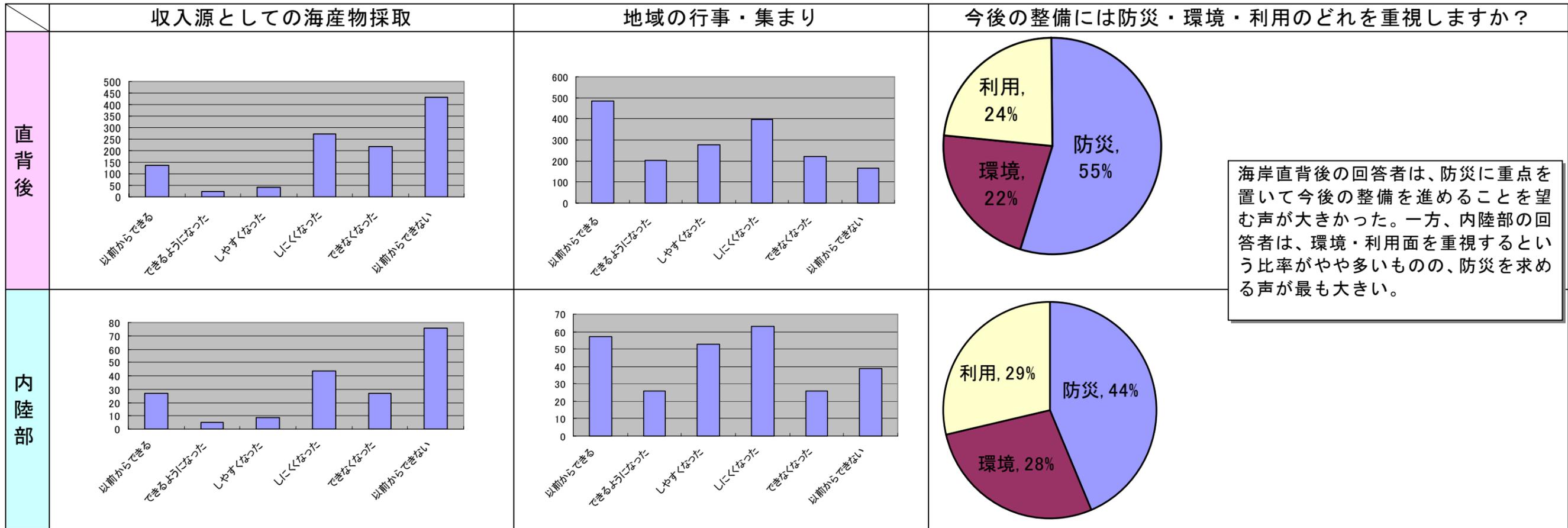


自由意見欄のテーマについて分類すると、問11とほぼ同様の結果が得られた。海岸ゴミについて住民の負担が大きく、改善が求められている。同様に、侵食（環境面に分類した生活環境としての砂浜の消失含む）に対する心配の意見も非常に多く、次に高波への不安についての意見が多く寄せられた。

●直背後と内陸部の回答の比較

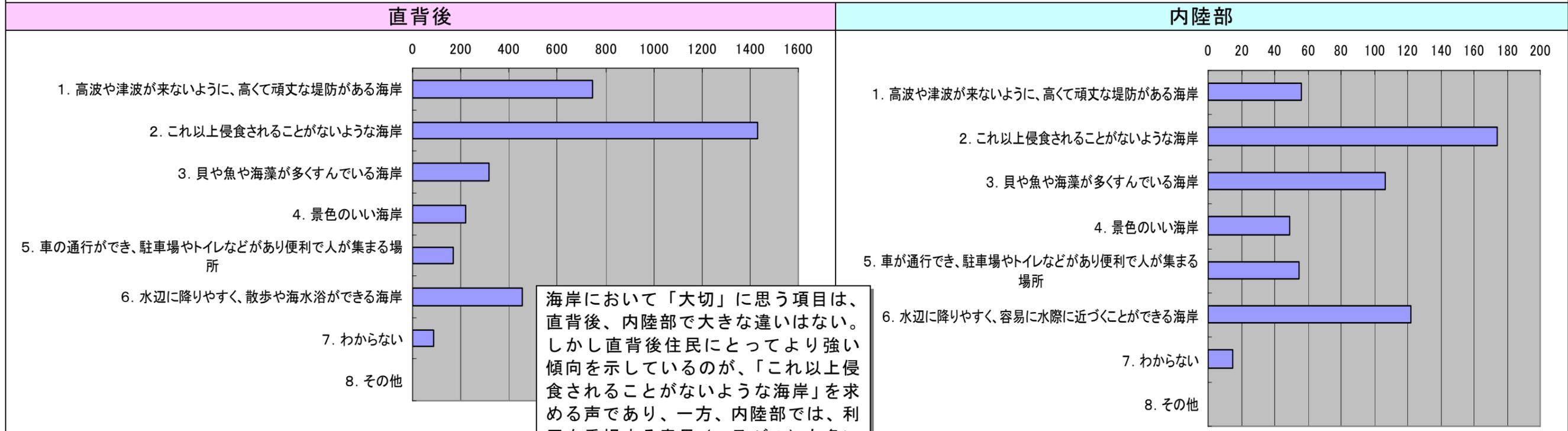
	回答者数	性別	年齢	海岸を利用しますか？	海岸に行く回数は？
直背後	3,460名		<p>直背後地の回答者は年齢配者の割合が多い→</p>	<p>直背後地の回答者は海岸を利用する人が多い→</p>	
内陸部	594名				
	利用する目的は？	海岸を利用しない理由は？	子供たちは海岸に誰と行きますか？	子供が海岸に行かない理由は？	
直背後	<p>←直背後地の回答者は堤防上の散歩の頻度が高い。一方、内陸部住民は「遊び」の使い方が多くなる。</p>			<p>沿岸地区においては「海は危ないところ」という認識が強い</p>	
内陸部					





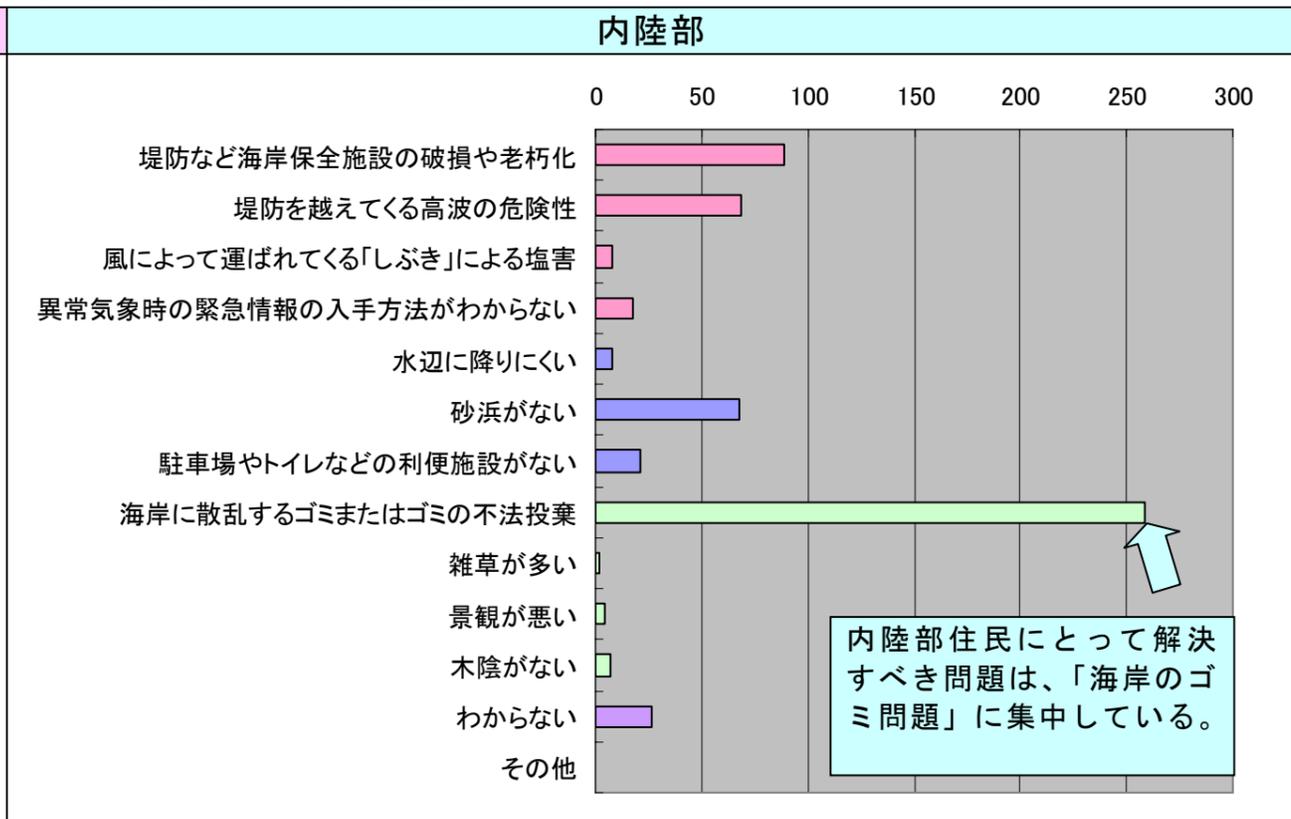
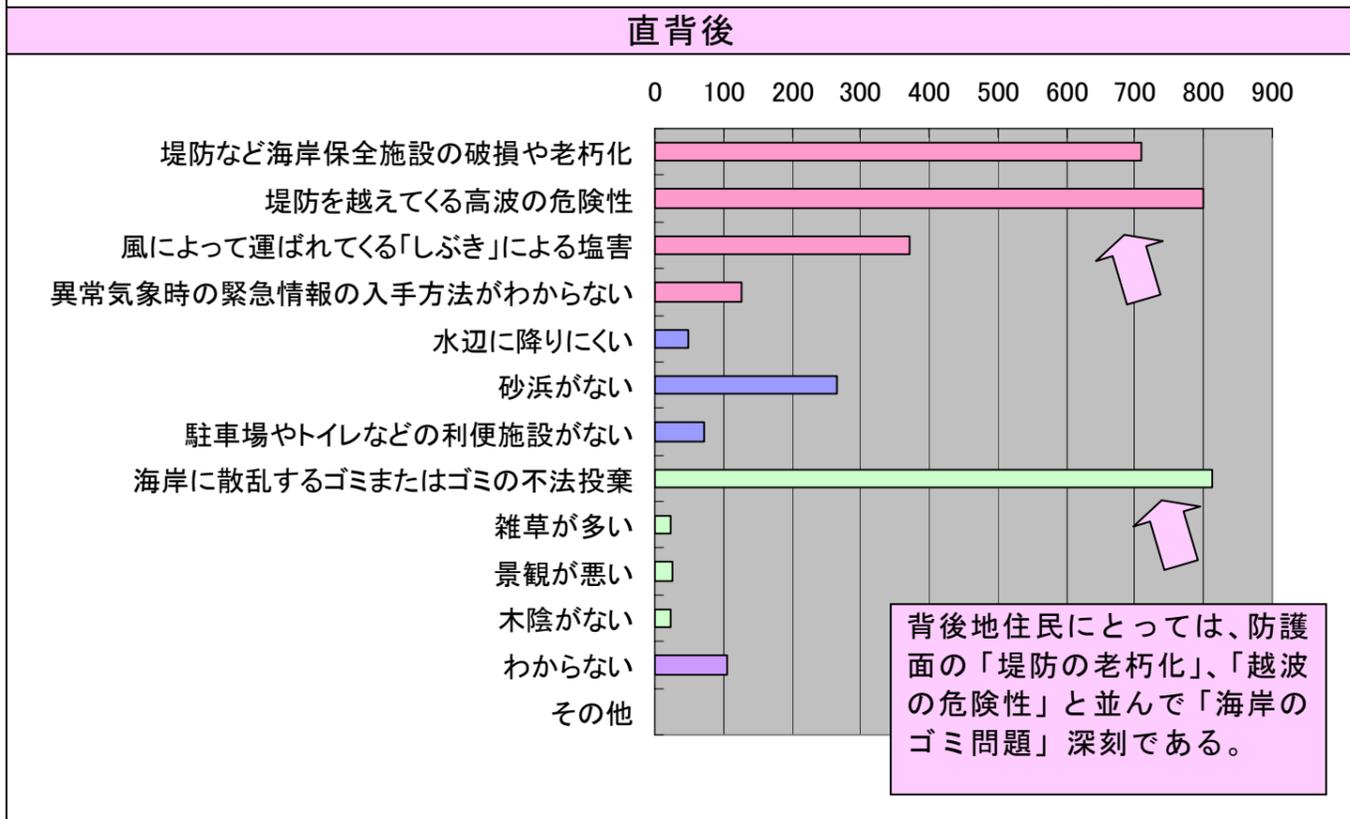
海岸直背後の回答者は、防災に重点を置いて今後の整備を進めることを望む声が大きかった。一方、内陸部の回答者は、環境・利用面を重視するという比率がやや多いものの、防災を求める声が最も大きい。

あなたが海岸に求める最も大切なことは？

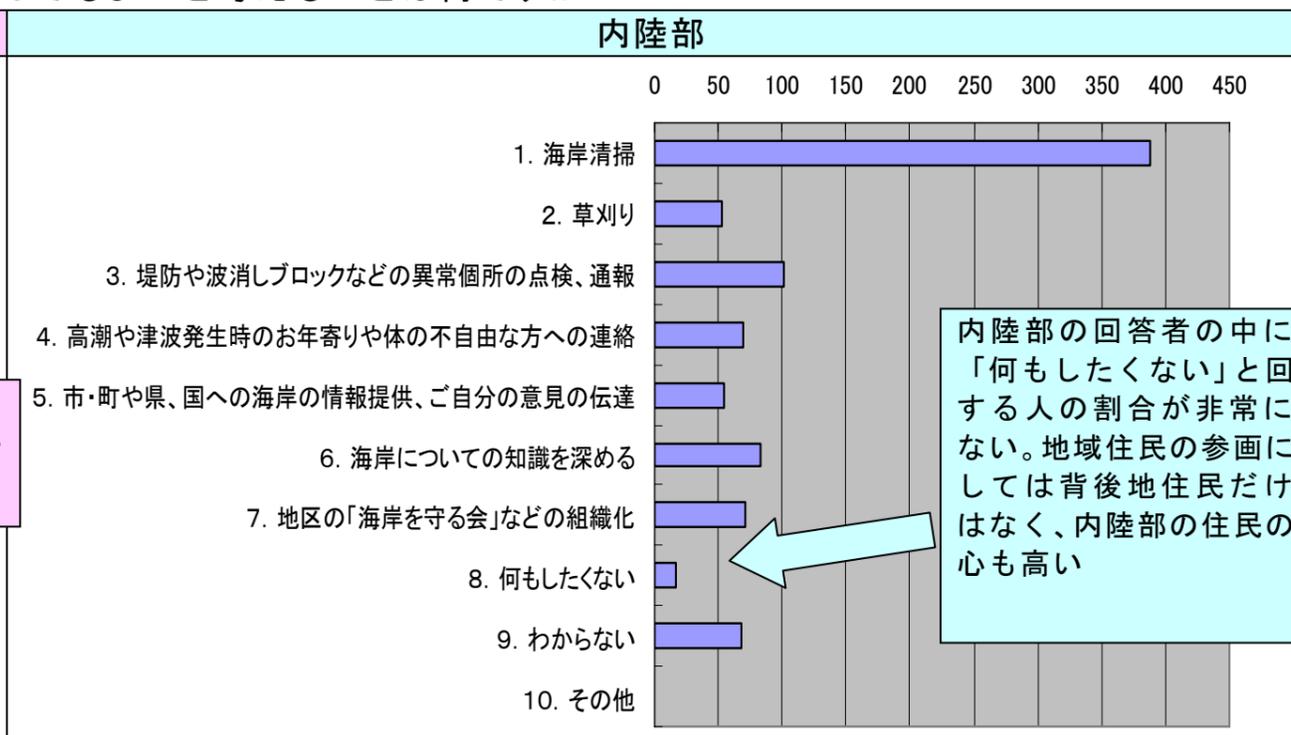
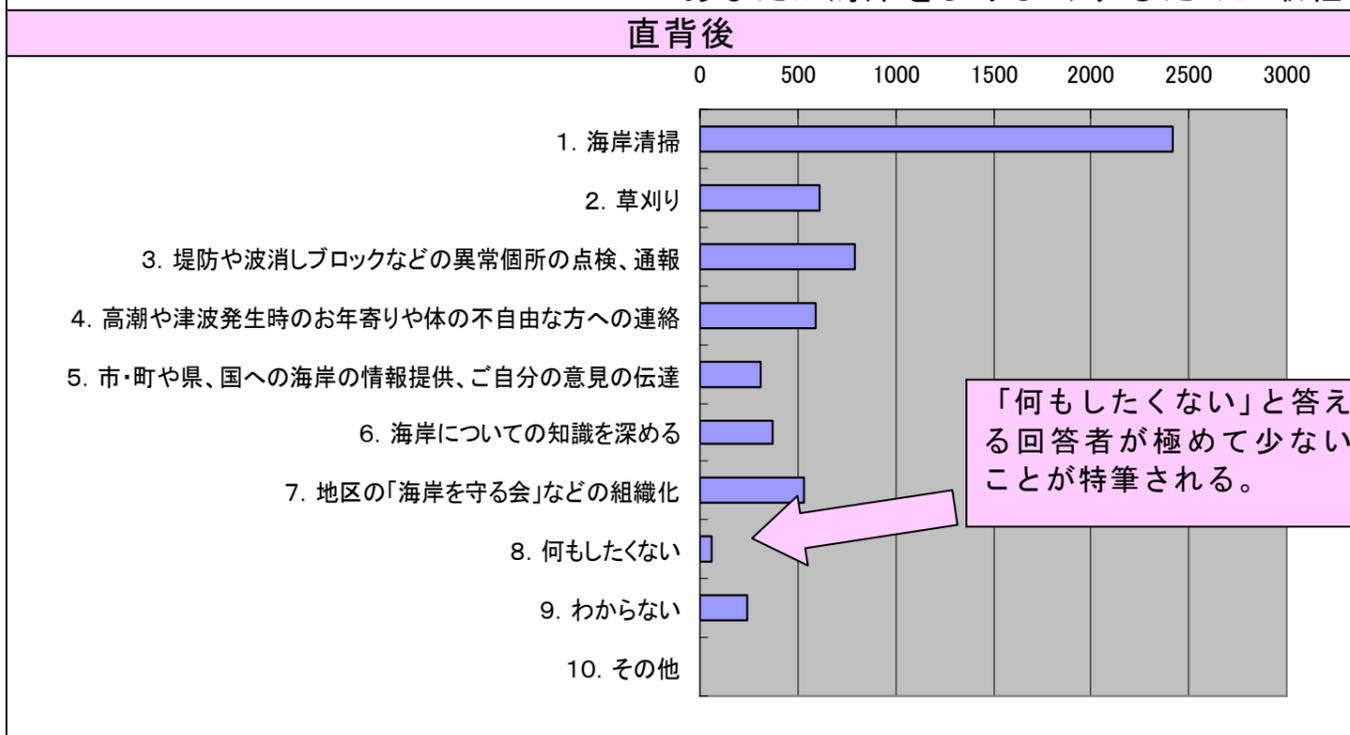


海岸において「大切」に思う項目は、直背後、内陸部で大きな違いはない。しかし直背後住民にとってより強い傾向を示しているのが、「これ以上侵食されることがないような海岸」を求める声であり、一方、内陸部では、利用を重視する意見（5及び6）も多い傾向がある。

海岸においてもっとも深刻と考える、または心配している問題点は？



あなたが海岸をよりよくするために取組んでもよいと考えることは何ですか？



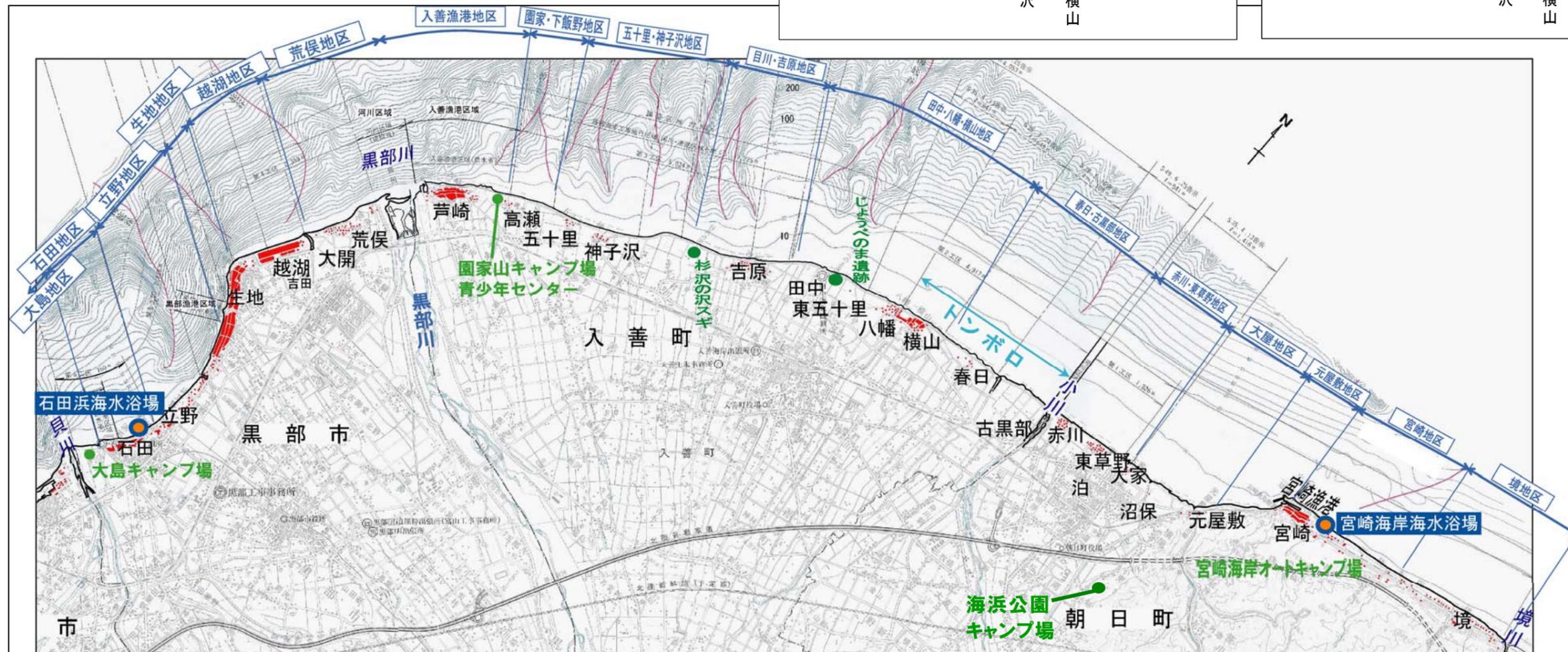
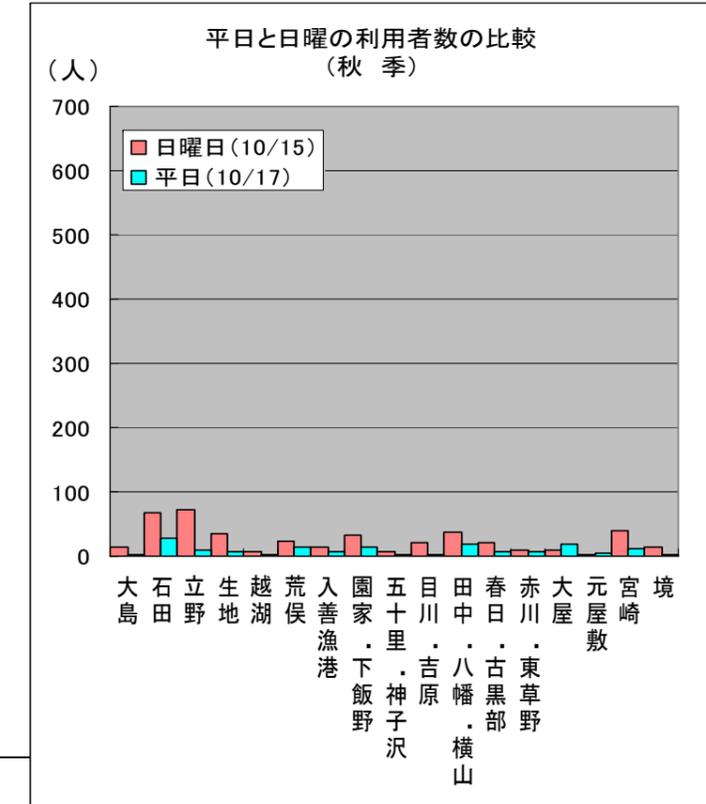
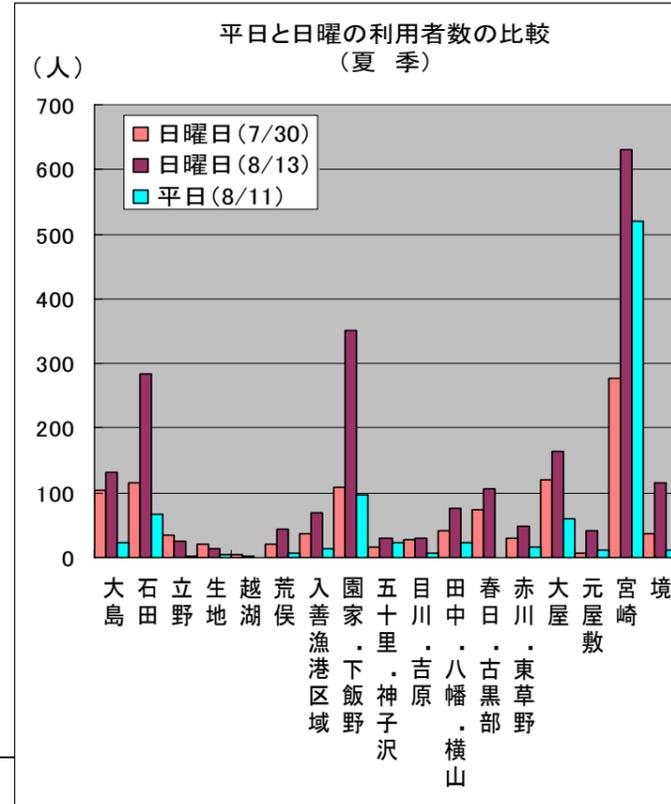
5. 下新川海岸空間利用実態調査結果

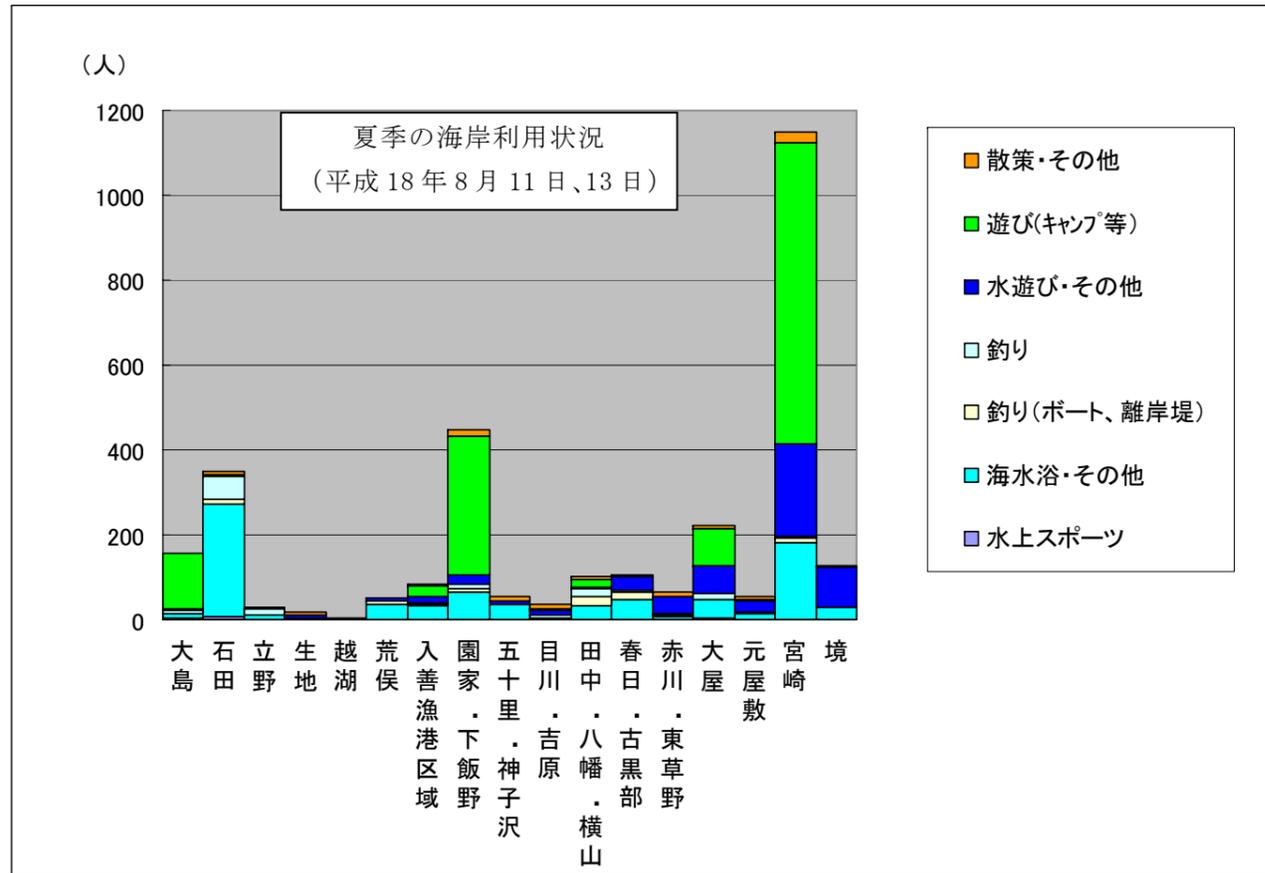
【空間利用実態調査実施要領】

夏季調査日：平成18年7月30日（日）夏休み
 平成18年8月11日（金）夏休み
 平成18年8月13日（日）お盆期間

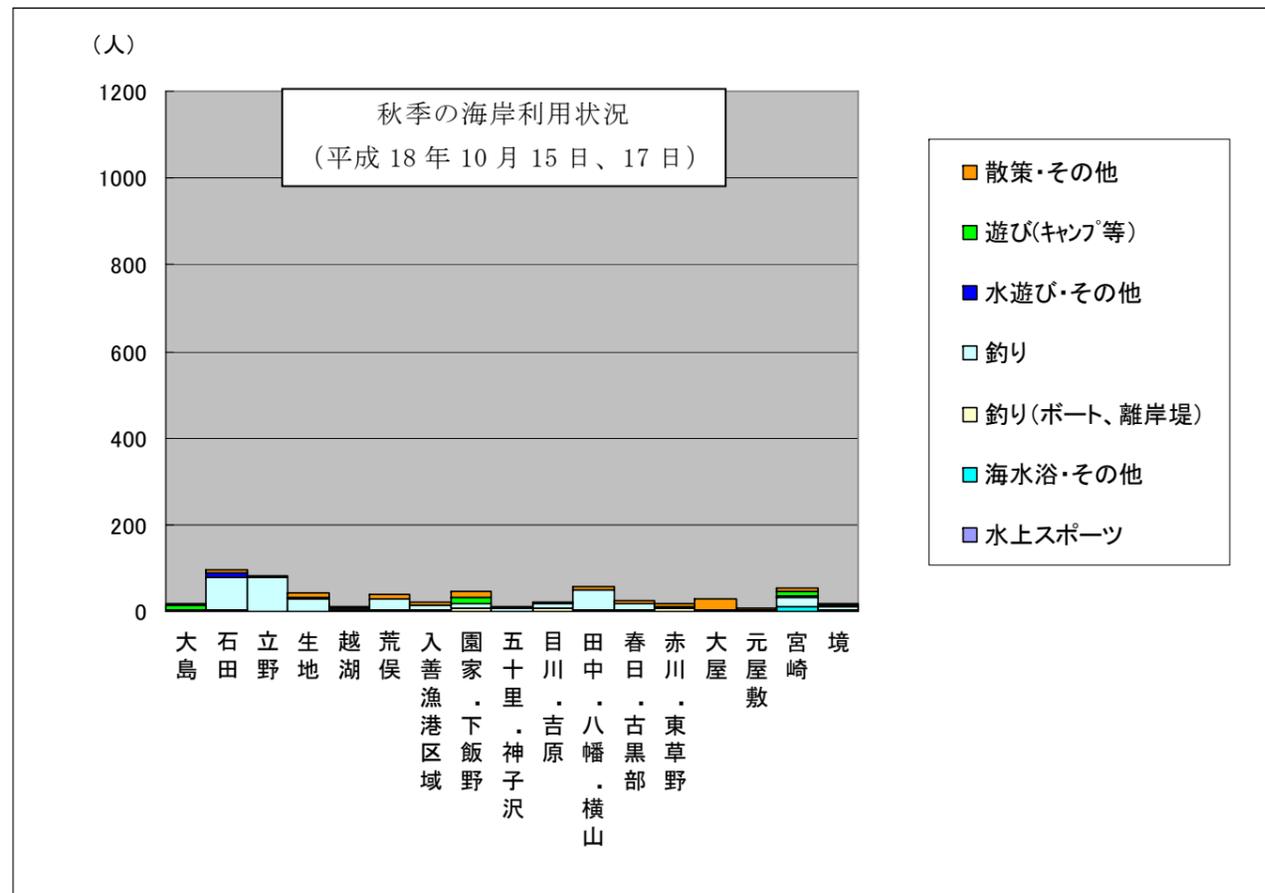
秋季調査日：平成18年10月15日（日）連休期間（体育の日：16日）
 平成18年10月17日（火）連休明け

調査場所：下新川海岸全域（境～石田を17区分して集計）





夏場の利用が特に多い。
キャンプ場のある宮崎、大屋、園家（下飯野）、大島と、砂浜の海水浴場のある石田に利用者は集中している。
秋の利用は釣りが多数を占める。特にフィッシャリーナのある石田をはじめ立野、生地に多い。釣りの利用は、夏よりも秋のほうがやや多い。



園家 (入善町) 夏 (左)、秋 (右)

石田浜海水浴場
(黒部市)

